

令和6年度

事業報告書

第 53 期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

社会福祉法人 わかば福社会

富山県富山市下堀8番地

目 次

社会福祉法人わかば福祉会概要	2
----------------	---

各事業所別事業報告

法人総括	4
わかば保育園	8
はりはら保育園	12
しんでん保育園	16
石金こども園	20
下堀こども園	24
わかばにこにこ園	28
きぼう保育園	30
わかばさくらんぼ園	33
わかば学童クラブ堀川園	36
わかば学童クラブはりはら園	38
わかば学童クラブ下堀園	39
わかば子育て支援センター	41

1. 法人概要

法人名	社会福祉法人 わかば福祉会
法人設立年月日	昭和 47 年 3 月 21 日
代表者名	理事長 小島 伸也
法人所在地	富山県富山市下堀 8 番地
電話番号・FAX 番号	電話：076-481-6823 FAX：076-481-6826
従業員総数	291 名（令和 7 年 3 月 31 日現在）

2. 理 念

親子の幸せに貢献する

<基本方針>

未来に向かってぐんぐんのびる 輝く希望の木になろう

おかえりなさい

いつまでも わかばは 心のふるさと

いつまでも ほっとできる場所

共に泣こう 共に笑おう 共に育っていこう

手を取りあって

喜びも 不安も 共に分かち合います

きらめく瞳

ゆたかな心と生きる力を育てます

つながる心

出会って生まれえた愛を育てていきます

3. 沿 革

昭和 43 年	4 月	わかば保育園 開設
	11 月	わかば保育園 認可（定員 40 名）
昭和 44 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 40 名から 55 名へ）
昭和 47 年	3 月	社会福祉法人わかば保育園 設立 理事長に高尾捨太郎が就任
	4 月	わかば保育園 増築（定員 55 名から 100 名へ）
昭和 49 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 100 名から 120 名へ）
昭和 51 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 120 名から 150 名へ）
昭和 55 年	11 月	第 2 代理事長に野口直美が就任
昭和 57 年	4 月	わかば保育園 改築（定員 150 名から 120 名へ）
平成元年	11 月	わかば保育園 増築
平成 8 年	11 月	第 3 代理事長に小島葉子が就任
平成 9 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 120 名から 150 名へ） わかば学童クラブ堀川園 開園
平成 13 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 150 名から 170 名へ）
	7 月	わかば学童クラブ布瀬園 開園
平成 15 年	4 月	はりはら保育園 開園（民営化受託） 第 4 代理事長に小島伸也が就任

平成 17 年	4 月	わかば学童クラブはりはら園 開園
平成 20 年	4 月	わかば保育園 定員変更 (定員 170 名から 150 名へ)
平成 21 年	4 月	しんでん保育園 開園 (民営化受託)
平成 27 年	4 月	わかば保育園 新築移転 (定員 150 名から 194 名へ)
	5 月	わかばにこにこ園 開園
平成 28 年	3 月	わかば学童クラブ布瀬園 廃止
平成 28 年	4 月	きぼう保育園 開園
平成 30 年	4 月	石金こども園 開園 (民営化受託)
		わかば学童クラブ下堀園 開園
令和 2 年	11 月	下堀こども園 開園
令和 3 年	4 月	わかば保育園 定員変更 (定員 194 名から 195 名へ変更)
	4 月	わかばさくらんぼ園 開園
令和 5 年	4 月	わかば学童クラブ堀川園 A・B 開園 (2 支援単位化)
		わかば学童クラブ下堀園 A・B 開園 (2 支援単位化)
令和 6 年	4 月	しんでん保育園 定員変更 (定員 145 名から 130 名へ変更)
		石金こども園 定員変更 (定員 295 名から 260 名へ変更)
		きぼう保育園 定員変更 (定員 16 名から 12 名へ変更)

4. 事業内容

○第二種社会福祉事業

- 幼保連携型認定こども園 (わかば保育園)
- 幼保連携型認定こども園 (はりはら保育園)
- 幼保連携型認定こども園 (しんでん保育園)
- 幼保連携型認定こども園 (石金こども園)
- 幼保連携型認定こども園 (下堀こども園)
- 小規模保育事業 A 型 (わかばにこにこ園)
- 小規模保育事業 A 型 (わかばさくらんぼ園)
- 放課後児童健全育成事業 (わかば学童クラブ堀川園)
- 放課後児童健全育成事業 (わかば学童クラブはりはら園)
- 放課後児童健全育成事業 (わかば学童クラブ下堀園)

○公益を目的とする事業

- 事業所内保育事業 (きぼう保育園)

○受託事業

- 地域子育て支援拠点事業 (わかばにこにこ園併設子育て支援センター)

令和6年度 わかば福祉会 事業報告

1. 基本総括 ―こども・子育て家庭を巡る社会の動向―

令和6年度は、前年度に創設されたこども家庭庁のもと閣議決定された「こども大綱」「こども未来戦略」「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」にもとづき施策が進められた。特に、こどもまんなか実行計画2024のもと、職員配置基準の改善、保育士等のさらなる処遇改善等が実現されたほか、「こども誰でも通園制度」や保育DXの推進、こども性暴力防止法等については、令和6年度に検討が進められた。また、令和6年末には、国において「保育政策の新たな方向性」が公表され、これまでの待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」から「質の高い保育の確保・充実」等への転換が示された。

富山市は子育て環境の充実について、こども基本法に基づく「富山市 こども計画」を策定し、こども施策を総合的に推進するとともに、「こどもまんなか社会」の実現に向けた機運の醸成に取り組んできた。

富山県では「人口減・少子化対策」に取り組むとともに「子ども権利条例」の制定に向けて議論が進められてきた。

このようなこども・子育てを巡る情勢の中でわかば福祉会は富山県幼児教育センターや富山市社会福祉法人連絡協議会とともに「質の高い幼児教育」の実現と地域共生社会実現をめざす一翼として、「地域における公益的な取組」に積極的に取り組み、社会福祉法人としての役割を發揮してきた。

当法人は、常に「親子の幸せに貢献する」ために何をなすべきかを考え、各種事業に邁進してきた。

重点① 子ども・子育て支援新制度や社会福祉法人改革、自然災害などの被災地支援など社会の要請や地域ニーズへ対応した保育の取り組みや事業等の展開をすすめた。

- ② 子育て関係者など広く県民や地域社会に向けて養護と教育が一体となった「保育」の機能・役割についての理解を広げた。
- ③ 地域において、保育所が中心となり「保育の出前」活動に積極的に取り組み、子育ての喜びや楽しさを伝えるとともに、子育てニーズや問題発見、発掘に努めるとともに、各種団体との連携により解決を図るよう努めた。
- ④ 幼保連携型認定こども園保育要領を積極的に実践し、学校教育との連携を進めた。「幼児教育センター」と一体となって、幼児教育の質の向上をめざした。
- ⑤ 保育ソーシャルワークの研修等を通じて、相談援助技術の向上を図った。
- ⑥ 認定こども園等の自己点検や第三者評価の仕組みを利用した保育の質の向上へ取り組んだ。
- ⑦ 富山市認定こども園協議会の強化を図るとともに組織強化に務めた。

2. 会 議

(1) 評議員会・理事会 必要回数

令和6年 6月 理事会(令和5年事業報告、決算、定時評議員会招集等)

令和6年 6月 定時評議員会

令和6年 6月 第2回理事会 書面決議(学童クラブ入札参加資格及び公告公示等)

令和6年 8月 第3回理事会 (入札参加業者資格審査、令和6年度補正予算等)

令和6年 8月 第4回理事会 書面決議(工事請負契約締結)

令和7年 2月 第5回理事会 書面決議(基本財産処分承認、評議員会招集)

令和7年 2月 第2回評議員会 書面決議(基本財産処分承認、定款変更)

令和7年 3月 第6回理事会(令和6年度補正予算、令和7年度事業計画、予算等)

3. 役員会等

- (1) 施設代表者 8 園会議 【原則として月1回実施】
- (2) 監事会 【期日:6月(令和5年度事業報告及び決算監査)】
- (3) 経営委員会及び研修委員会
 - ① 経営強化・事務部会議
【随時開催】組織基盤強化・体制整備、等組織全般の強化、推進
 - ② 8 園(連携・研修)会議
【随時開催】方針の具体化、個別園の状況把握と問題解決、研修会等の企画
- (4) 放課後児童健全育成事業運営委員会【クラブごとに年 1 回実施】
- (5) 第3者委員会(各保育園単位)

4. 事業内容

- (1) 初の医療的ケア児の受入れ(わかば保育園で 1 名)
- (2) 8園の協力体制を確立した。小規模園の責任者配置
- (3) 保育事務、保育打合せ、記録等就業時間内業務遂行を進めた。
- (4) 未来委員会活動の推進
- (5) 事業規模を拡大し、安定経営の前進
- (6) 「保育の出前」の推進
- (7) 「14 歳の挑戦」等次世代の子育ての担い手養成や子育てボランティアの受入れと育成
- (8) 保育教諭等の人材の確保・定着・育成(新人保育教諭2名、年度途中採用 5 名)・新人研修の強化
- (9) 給食の自主献立の推進
- (10) 学童クラブの対象児童の高学年化に伴う事業内容の充実

5. 環境の整備

- (1) わかば保育園の空調設備の更新(耐用年数到達)
- (2) わかばにこにこ園のエレベーター修理、壁の修理(震災被害復旧工事)
- (3) わかば学童クラブ石金園の完成
- (4) はりはら保育園のお遊戯室の床のはりかえの実施と大型修繕の計画化

6. 表彰の推薦

富山市認定こども園協議会、県社協会長表彰、全保協会長表彰等について、保育所運営及び本会事業貢献者等の推薦を行った。

7. 外部との連携

市と県の保育組織・経営組織との連携、協働関係の推進及び関係行政との連絡調整、地域子育てネットワーク構築のため地域関係機関・組織との連携、協力を進めた。

令和6年度 事務部の取組

- (1)事務負担軽減及びペーパーレス化のため、学童部門において請求事務のクラウド化を実施した。
- (2)富山県保育士・保育所支援センター及びとやま U ターンガイドに求人を掲載し、広域圏を含めた保育人材の確保を図った。
- (3)広報・宣伝活動として富山市子育て支援ガイドブックへの広告掲載や 2024 年度福祉のお仕事フェア inTOYAMA へ出展した。
- (4)新卒者の定着を図るため、新卒採用職員交流会(6月と12月)を開催した。
- (5)保育の魅力発信のため、富山県立滑川高等学校のフィールドスタディの受入れをおこなった。
- (6)事務負担軽減を図るため、補助金実績報告の一部を事務部でおこなった。
- (7)今年度の中長期計画の取り組みを実施した。
- (8)地域における公益的な取組として、富山県の補助をうけ「TOYAMATCH イベント事業」(婚活イベント)を実施した。
- (9)障害者雇用の推進を図るため、2名採用し計3名となった。
- (10)職員の業務効率化や一体感の向上、わかばブランドのイメージ強化を図るため、福祉会オリジナルエプロンを作成した。

令和6年度 社会福祉法人わかば福祉会 児童在籍・特別保育等の事業実績数

(単位：人)

		令和6年度	令和5年度	令和4年度	対前年度増減数	対前年度比率
2・3号	0歳児	709	653	702	56	108.6%
	1・2歳児	3,335	3,470	3,512	-135	96.1%
	3歳児	1,756	1,789	1,892	-33	98.2%
	4・5歳児	3,690	3,749	3,583	-59	98.4%
計		9,490	9,661	9,689	-171	98.2%
1号	満3歳児	117	74	55	43	158.1%
	3歳児	229	243	298	-14	94.2%
	4歳児	215	301	233	-86	71.4%
	5歳児	241	219	228	22	110.0%
計		802	837	814	-35	95.8%
総合計		10,292	10,498	10,503	-206	98.0%
定員数		918	972	972	-54	94.4%
充足率		93.4%	90.0%	90.0%	-	-

延長保育		14,119	13,721	12,118	398	102.9%
休日保育		367	329	339	38	111.6%
一時保育		453	466	315	-13	97.2%
年末保育		14	30	52	-16	46.7%
延べ利用人数	学童	30,861	29,378	21,017	1,483	105.0%
	支援センター	7,320	5,752	5,586	1,568	127.3%

令和6年度 基本方針に対する到達点

わかば保育園

ねらい	施策	到達点
<p>1、質の高い保育の実現のために</p>	<p>☆保育の質の向上をめざして☆ 新規採用、異動等での新体制でのスタートとなる。これまで切磋琢磨し積み上げてきた保育を土台とし、新たな風を取り入れる機会を大切に捉え子どもの姿・心に寄り添い、主体的に遊べる環境設定、日々の生活や行事の中での育ちのねらいを皆で考えていく。また、幼児教育センターの訪問研修をうけることで保育の振り返りをおこない質の向上をめざす。</p> <p>☆保護者とともに☆ 見守りが必要な家庭、個別配慮児へ専門的対応など難しいケースが増えているが、保護者に寄り添い、思いを共有し子どもの成長を日々伝える事によって保護者自身の子育ての力、楽しさを引きだしていく。</p>	<p>園長・副園長、新人8名採用があり、園の体制が大きく変わり、若い世代が多く、中堅職員、臨時職員等の力を借りながら、保育の基礎となるところから見つめ直し、みんなで共に考え、進めていく1年であった。子どもたちの姿から活動の内容やねらいを考え進めていけるようにクラス会議を大切に進めていった。また、新人研修として福祉会の他園にローテーションしながら、出向し保育の幅や職場理解を図れるようにしていった。</p> <p>様々な配慮の必要な子が多くまずは、保護者の話しを傾聴することを心がけ、対話の時間を大切に育ちや関わりについての悩みに丁寧に応えていけるようにした。また、苦情やご意見にも真摯に向き合いながら、保護者対応や保護者支援を模索する1年となった。</p>
<p>2、施設の役割・あり方</p>	<p>☆地域への貢献と関係機関との連携☆ コロナ前の訪問等に戻るにはまだ課題がある為、時代にあった新たな取り組みを考えていく。地域民生児童委員、地域放課後デイサービス、支援センターとの連携強化し子育て講座や相談業務、地域の親子の現状など共有し、強み・課題を話し合う事で、園として貢献できることを考えていく。小学校との連携や個別に配慮が必要な子どもの育ちを大切にし、保健センターや恵光学園、県リハ等との連携継続、見守り家庭等、市役所や児童相談所との情報共有を強化していく。</p>	<p>地域民生児童委員、保健推進委員の方は年に数回の訪問や行事参加など、まずは、信頼感をもっていただけるように努めていった。また、児童相談所や富山市こども健康課と見守り家庭についての事案について様々な情報を共有していった。特に、児童相談所は、保護レベルのケースもあり、連携を密に行っていた。</p> <p>今後も適切な対応ができるようしっかりと連携していきたい。また、個別に配慮が必要な子の対応なども専門家を招き、どのようなアプローチや関わりをするかなど職員全体で学び、共通理解を行った。今後も各機関と連携し、園として貢献できる事を引き続き考えていきたい。</p>
<p>3、人材育成・研修</p>	<p>☆子どもも職員も“楽しい”育ちあう職員集団に 職員間のコミュニケーションを大切にして信頼関係を構築していく。また、若手職員や臨時・パート職員も共に考え思いを活発に伝えあえる事ができる各種会議の持ち方を工夫し、子ども・保護者理解、共に働く同僚理解を深められるよう、前向きな意見が言いやすい風通しの良さと、</p>	<p>年間を通して、体制の厳しさがあったが、クラス会議は大切にし、全体の昼礼などでリアルタイムでの発信することが難しいこともあった為、毎日10分朝礼を行い、保育だけでなく業務連絡などを密にしていくようにした。</p> <p>正規・臨時・パート職員や資格、職種の異なる職員の交流の機会を大切に風通しの良</p>

	<p>共感することを大切にしていく。</p> <p>☆リーダーの育成と研修制度☆ 各部門の現状や課題を話しあう機会を多く持つことで業務に対する役割を確認しリーダーシップを発揮できるようにする。互いの保育観や職員の思いを代弁することに繋げていく。各職員が必要なスキルに応じた研修に参加できるよう配慮する。</p>	<p>い職場づくりを心がけた。</p> <p>各部門の現状を話しあう機会を多く持たなかったが会議では、副園長、主幹保育教諭、中堅リーダーが各保育室に入り一緒に保育することによって困りごとに早期に気づきアドバイスすることで解決できるようにしていた。</p>
4、働き方改革と処遇改善	<p>☆働きやすい職場環境にするためのさらなる工夫☆ 定期的に職場アンケートを実施し、職員の意見の吸い上げを行う。家庭の事情を配慮し、多様な働き方があることを職員間で理解、尊重しフォローしあえるようにする。ノー残業ディの実施の継続。 事務時間確保とノンコンタクトタイムを基本に、確実に休憩をとる事、年次休暇取得率向上に努めたい。また日々の教育・保育の振り返りの時間がとれるようにしていく。</p> <p>☆にこにこ園との連携☆ 連携園として柔軟な人員配置や行事の参加、進級等を見据えた交流、などより確実な協力体制の強化を図る。</p>	<p>事務時間を有効に使い保育の準備を就業時間内に行うが事が増えてきた。また、クラスの様子を見て、職員自ら事務時間を作り有効に業務をする職員もいて、業務内での事務時間への意識も高まっている。行事前は作業量が多いが、職員間で役割分担しながら互いにフォローしあえる姿が見られた。また、年次休暇の取得は計画的にと考え今後も推進していきたい。職員同士が互いに協力し、さらなる取得率アップに繋げていきたい。</p> <p>行事の協力も含め、にこにこ園との連携は良好であり、柔軟な対応ができていたと思う。今後もコミュニケーションを大切に、様々な交流をしていきたい。</p>
5、施設改修等	<p>☆日々改善・見直しの積み重ね☆ 乳児室のエアコン修繕、園内安全点検の強化（劣化、不具合等） 樹木の手入れ、床ワックスがけ、高所等の清掃等</p>	<p>日々の安全点検は丁寧に行い、職員からの要望など汲み取り、環境整備や修繕等を行っていた。</p> <p>昨年度に引き続き、エアコン（ガスヒートポンプ）の不具合は破損箇所（原因）が特定できず時間と経費を要した。</p> <p>また、床のワックスがけや高所等の清掃に取り掛かれず、来年度は、床のワックスがけする予定としている。</p>

令和6年度 事業報告

わかば保育園

- 4月 進級式 入園式
年中・年長児遠足 園児検尿 視力検査
- 5月 年少児遠足 芋苗植え クラス懇談会(3歳未満児)
年長児お泊り保育(立山青少年自然の家) ファミリーデー
- 6月 内科検診 眼科検診 歯科検診 運動能力測定
クラス懇談会(幼児)
父母の会総会 プラネタリウム鑑賞(年長児)
3歳未満児個別懇談会 年少児個別懇談会
- 7月 竹馬作り・奉仕活動 盆踊り・夏祭り 親子クラス交流会(年中児)
七夕の集い プール開き ザリガニつり(年長児)
年中・年長児個別懇談会 幼児保育参加 3歳未満児保育参加
14歳の挑戦
- 8月 同窓会(1~6年生) 防火教室
- 9月 年中ナイト保育 14歳の挑戦
- 10月 運動会(3,4,5才)…下堀こども園 園庭にて 芋掘り 2歳児親子遠足
幼児遠足 焼きいもパーティー 内科検診
運動能力測定 14歳の挑戦 親子クラス交流会(1歳児)
- 11月 3歳未満児個別懇談会 歯科検診 視力検査
クラス懇談会(0歳児)
- 12月 生活発表会(幼児)…婦中ふれあい館
年長児個別懇談会 クリスマス会 親子クラス交流会(0歳児)
- 1月 新年お楽しみ会 年少・年中児個別懇談会 親子雪遊び遠足(年長児)
2歳児親子交流会
- 2月 節分の集い お店屋さんごっこ ねはんの集い(年長児)
防犯教室 3R推進スクール
- 3月 ひなまつりの集い
お別れ会 卒園式 修了式

令和6年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(わかば保育園)

	2・3号				1号				計	総合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育	病児・病後児				
	0歳児		1・2歳児		3歳児		4・5歳児				満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児					標準	短(前)	短(後)	1号
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児																		
4月	10	58	38	69	175		2	4	4	4	4	4	233	28	33	117	19	0		5		
5月	10	58	38	70	176		2	4	4	3	3	3	208	46	46	92	9	0		6		
6月	11	58	38	70	177		2	4	4	3	3	3	224	20	19	113	26	2		3		
7月	13	58	38	70	179		2	4	4	3	3	3	247	21	19	122	28	0		8		
8月	13	59	38	70	180		2	4	4	3	3	3	206	19	16	116	14	0		3		
9月	15	59	37	70	181		4	4	4	3	3	3	213	16	9	99	19	4		4		
10月	17	59	37	70	183		4	4	4	3	3	3	254	25	9	131	15	10		6		
11月	17	59	37	69	182		4	4	4	3	3	3	215	20	5	117	20	5		21		
12月	17	59	37	69	182		4	4	4	3	3	3	219	19	2	120	22	6	14	7		
1月	19	59	37	69	184		4	4	4	3	3	3	179	14	6	115	12	4		9		
2月	19	59	37	69	184	1	4	4	4	3	3	3	220	21	4	111	19	4		3		
3月	19	59	36	69	183	1	4	4	4	3	3	3	199	23	7	129	27	3		4		
計	180	704	448	834	2,166	2	38	48	48	37	37	37	2,617	272	175	1,382	230	38	14	79		
前年度	148	743	420	888	2,199	2	48	48	48	36	36	36	2,612	177	73	1,593	215	85	21	106		
前年比	32	-39	28	-54	-33	0	-10	0	0	1	-9	-42	5	95	102	-211	15	-47	-7	-27		

令和6年度 基本方針に対する到達点 はりはら保育園

ねらい	施策	到達点
<p>1、 質の高い保育の実現の為に</p>	<p>※保育の質を高めよう 社会の時代背景への理解を深めたインクルーシブな保育・子育て支援 ～安心・安全を土台に安心して預けられる保育園を目指して～ 「こどものやりたい」という思いを大事に生活の場を整えていく。 小集団から集団へと成功体験ができる経験を増やし個々が安心して過ごせる場・保育園が楽しい！と思える場を提供していく。やってみたいと思える環境づくりを見直し自主性や多様性を尊重した保育を目指す。こどもの「やりたい」に共感し保育者自身も楽しむ。また、保育者も多様な存在なのでその個性を尊重することも大切にしながらい力を発揮していく。</p> <p>※保護者とともに ・子どもの育ちやその意味を丁寧に伝え、共に喜び合う事を大切にする。保育園側の思いだけにならないよう傾聴・伝えるスキルを身につけ、保護者と日々子どもの姿を話しながら、家庭と共に子どもの自己肯定感の向上を目指す。</p> <p>※人権を大切に ・多様性を尊重しこどもの権利・生活を守ることなど、子ども達と一緒に保育の中での取り組みを考えていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの思いを受け止める」ことを大切に一人一人のその子の思いを尊重するように心がけた。子どもの思いを受け止めるためには、起きてしまった行動に何か意味や原因があることへの理解を深め、しっかり耳を傾けて子ども達が「安心感」が感じられるように、職員間で話し合いを重ねた。 ・幼児クラスは1クラスに30人近く長い1日を過ごすため、子ども達がホッと気持ちが落ち着く時間や遊びに集中できるよう環境を見直し安心できる居場所作りを考えた。職員室や用品庫の空間を整備しクラス以外にも小集団で過ごせる工夫を職員間で話し合い環境を整えたことにより、クラスではじっと落ち着いて集中することが苦手な子どもじつくりと友達と遊んだり穏やかな気持ちで過ごせたりすることもできた。 ・結果だけにフォーカスせずに、育ちに目を向け日々の積み重ねでの子どもの成長を伝えあっていく。個別配慮の必要な子・支援が必要な保護者が増えているため、まず保護者の話を傾聴することを心がけ対話の時間を大切に、子どもの育ちや関わり方について保育園でのステップの成功体験を丁寧に伝えていけるように取り組んだ。
<p>2、 施設の役割・あり方</p>	<p>※地域の子育て支援の場としての役割強化 ・保育園の魅力を発信していきながら支援の場として役割を強化する。</p> <p>※地域との繋がりを大切にして連携を深める ・幼保小の連携を密に園だよりを配布、災害を意識した合同の避難訓練ができるように働きかけていく。</p> <p>※針原地区唯一の幼児施設としての役割強化 ・富山県リハビリテーション病院、北保健福祉センターとの連携はもちろんだが、小学校との連携もさらに深め、子どもの発達を多方面から支援していく。医療ケア児受け入れ体制を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子サークルの様子や日常の子ども達の姿をインスタグラムも利用し発信していくことで保護者の方の理解が深めるきっかけに繋がって利用者も増えた。 ・針原小学校の学校運営委員会に月に定期的に参加し、幼保小の連携を図りながら、共通理解をもてるように進めていった。支援が必要な子どもの就学に向けて、教頭先生とのこまめな連携を図ることができ、スムーズに小学校進級へ進めることができた。 ・支援が必要な家庭への地域での連携を強め、気になる姿や子育ての悩みに寄り添い、良い手立てができるように保護者との面談や送迎時に顔をみて声をかけるなど配慮を心がけた。

<p>3、 人材育成・研修</p>	<p>※リーダーの育成 保育者の主体性も認めあい課題や議題に対する意見を持ち寄り、話し合う中でそれぞれが自分の役割を自覚し、リーダーシップを発揮できるようにする。今年は講師の先生を招いて研修したい。</p> <p>※おおいに語り合う会議・ゼミにしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の振り返りを通して子ども達の育ちや何に夢中になっているのか心が動いている姿を捉え、保育の語り合いを大事にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の目的や意味なども子どもが負担にならないように各クラスのリーダー達が中心にクラス会議や乳児・幼児会議を副園長が相談役となって取り組むことができた。 ・コドモン配信の動画で、それぞれの職員が自分の興味・関心のある研修内容を選択し学びを深めた。また、各自の研修報告をもとに、子ども達一人一人の人権を大切にまなざしが向けていけるよう保育の語り合いを多く持つようにした。
<p>4、 働き方改革と処遇改善</p>	<p>※ICT化実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直し・効率化を図る。職員の業務負担を軽減し子どもと向き合う時間を確保する。 <p>※有給休暇の積極的取得推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に計画的な有給取得をはかる。また土日を含めて一人1回4～5連休を取得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラスにおいては、担任発信でクラスとして話し合いたいことがある時や、困っている事がある時に、主幹、副園長がサポートに入りノンコンタクトタイムをとれるようにした。正規・非正規関係なく、クラスの事について向き合って考えることができ、良い時間になったと思う。 ・継続的に計画的な有給取得をはかり土日を含めて一人1回4～5連休を取得することができた。
<p>5、 施設改修等</p>	<p>※園舎等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築年数が古く、様々な部分に支障が出てきているが、修繕するところは修繕し園舎を大切に使いしていきたい。園内の環境を見直しささくれがひどい部分から修繕していく。中長期計画を視野に入れながら子どもにとっての動線や魅力ある環境地域に必要なとされる園舎づくりを考えていく。 ・給食室新体制での自園献立に向けて環境見直し改善を行い、安心・安全でおいしい子ども達の食を支える給食づくりをバックアップしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用品の備蓄については、備蓄品見直し災害の対策について安全計画の見直し、計画たて、実際に発電機や備蓄の点検も行なった。備蓄倉庫の環境整備を行った。 ・長年の書類関係も保管期間などを確認し、整理整頓を行った。 ・ゴミ置き場の安全・整備を行い清潔感が保てるよう定期的に清掃・点検を行った。 ・広範囲にわたって園周辺が草で覆われ猛暑もあり除草作業がなかなか思うように進まず、職員だけでは追い付かず課題が残った。次年度は対策や業者の利用や除草作業の検討が必要である。 ・園庭や職員駐車場の土が減りあちこちに穴があいて凸凹しているので安全対策を進め、土砂を入れたがまだまだ水たまりが解消されていないので今後修繕が必要である。 ・老朽化する園舎は、1年を通して床や壁の劣化が原因でとげが刺さるケガが増え、ワックスがけやすりをかけるなどしてきたが子どもの安全を第一に床の貼り替えをし、きれいな遊戯室で発表会を行うことができた。 ・自園献立になり、『大人になっても忘れられない味』の提供に感謝し、日々子ども達や職員の笑顔の原動力となっている。

令和6年度 はりはら保育園事業報告

予 定 月 日		行 事 名	年 齢
4月	4日(木)	進級式	幼児
	8日(月)	入園式	新入児・途中入園児
	24日(水)	そら春の遠足 ★	年長児
	27日(土) AM	総会・保育参観	全園児
5月	9日(木)	にじ春の遠足 ★	年中児
	10日(金)	ほし春の親子遠足 ★	年少親子
	16日(木)～17日(金)	そらお泊まり保育	年長児
	27日(月)～31日(金)	個別懇談会	全園児
6月	5日(水)	歯科健診(9:30～)	全園児
	12日(水)	内科健診(12:15頃)	全園児
	13日(木)	ザリガニ釣り ★	年長児
	20日(木) 21日(金)	親子竹馬づくり	年長親子
	未定	プラネタリウム	年長児
7月	2日(火)・3日(水)	こども夏祭り	幼児
	4日(木)	眼科健診(13:30～)	全園児
	5日(金)	七夕の集い	全園児
	10日(水)	プール開き	全園児
	17日(水)	にじ園外保育 ★	年中児
	18日(木)	そら園外保育 ★	年長児
	27日(土)	同窓会	卒園児
9月	6日(金)	にじ親子野外活動	年中児親子
10月	5日(土)	運動会	年中・年長児
	8日(火)	2歳児保育参観(運動遊び)	2歳児親子
	9日(水)	ほし運動会ごっこ	年少親子
	未定	来拝山登山	年長児
	16日(水)	内科検診(12:15頃)	全園児
	17日(木)	2歳児遠足 ★	2歳児
	25日(金)	幼児秋の遠足 ★	幼児
	30日(水)	歯科健診(9:30～)	全園児
	28日(月)～11月1日(金)	年長個別懇談会	年長児
11月	5日(火)	こあら組クラス交流会	0歳児親子
	6日(水)	うさぎ組クラス交流会	1歳児親子
	7日(木)	くま組クラス交流会	1歳児親子
	8日(金)	焼きいもパーティー	全園児
	29日(金)	ほし・にじ生活発表会	年少・年中児
12月	13日(金)	そら生活発表会	年長児
	20日(金)	クリスマス会	全園児
1月	10日(金)	新年お楽しみ会	全園児
	17日(金)	年長冬の親子遠足	年長児親子
	29日(水)	すもう大会	年中・年長児
	31日(金)	2歳児ごっこ遊び	2歳児親子
2月	3日(月)	ひなまつりの集い	全園児
	7日(金) PM	年長クラス交流会	年長児
	20日(木)～21日(金)	お店屋さんごっこ	幼児
3月	3日(月)	ひなまつりの集い	幼児
	7日(金)	おわかれ会	全園児
	13日(木)	祖父母感謝の集い	年長児
	15日(土)	卒園式	年長児
	28日(金)	修了式	2歳児・幼児

★お弁当持参の日

令和6年度 児童在籍・特別保育の事業実績数（はりはら保育園）

	2号3号認定				計	1号認定				計	合計	延長保育			休日保育	一時保育	年末保育	期前・期後児		
	0歳児	1・2歳児		3歳児		4・5歳児	満3歳児	1号認定				標準	短(前)	短(後)					1号	
		1歳児	2歳児					3歳児	4歳児											5歳児
4月	6	52	26	52	136	0	3	4	4	1	8	144	62	3	1	62	0	2	0	32
5月	6	51	26	52	135	0	4	4	4	1	9	144	52	0	1	68	0	2	0	34
6月	7	52	26	52	137	0	4	4	4	1	9	146	61	0	1	62	0	2	0	41
7月	8	51	26	52	137	1	4	4	4	1	10	147	70	1	0	92	0	7	0	29
8月	8	51	26	52	137	1	4	4	4	1	10	147	51	0	0	117	0	0	0	31
9月	9	52	26	52	139	2	4	4	4	1	11	150	64	0	5	64	0	0	0	40
10月	11	51	26	52	140	4	4	4	4	1	13	153	79	2	3	83	0	4	0	26
11月	12	51	26	52	141	5	4	4	4	1	14	155	94	0	0	87	0	0	0	38
12月	13	51	26	52	142	5	4	4	4	1	14	156	79	0	0	78	0	0	0	16
1月	13	50	26	51	140	6	4	5	5	1	16	156	65	0	0	104	0	2	0	34
2月	13	50	26	51	140	6	4	5	5	1	16	156	61	0	0	120	0	0	0	12
3月	15	50	26	51	142	6	4	5	5	1	16	158	55	0	1	122	0	0	0	28
計	121	612	312	621	1,666	36	47	51	51	12	146	1,812	793	6	12	1,059	0	19	0	361

前年度 151 627 332 684 1,794 27 41 38 48 154 1,948 447 5 14 499 10 52 5 224

前年比 -30 -15 -20 -63 -128 9 6 13 -36 -8 -136 346 1 -2 560 -10 -33 -5 137

令和6年度 基本方針に対する到達点 しんでん保育園

ねらい	施策	到達点
<p>1、質の高い保育の実現の為に</p>	<p>※保育の質の向上をはかろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度は職員体制が変わる。現在と変わらず若い職員が多い園であるが、ベテラン職員も増えるのでお互いの良い面を吸収しつつ、保育者自身が日々面白さや楽しさを感じながら主体性を発揮し、保育できるような環境を目指す。 子どもの主体性や権利を尊重して、その時々はどうすることが子ども達にとってより良いのかを考えながら保育するように心がける。また子ども達一人一人を多面的にとらえ、認めながら丁寧な保育を心がける。 <p>※保護者とともに</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に保護者の味方であるという姿勢を持ち、普段の対話を大切に子どもの何気ないつぶやきやかわいい姿を伝えていく。その中で保護者の本当の思いを引き出したり、子育ての楽しさを共有したりして保護者の子育て力を育み支えていきたい。 	<p>異動してきた職員と共に保育をすることにより、新しい気づきを得ることができた職員が多かったように感じる。今までの自分のやり方を見直すきっかけにもなった。しかし職員の保育観や価値観は多様であるため、時には思いのすれ違いもあったので、その都度『保育者の思いで子どもを動かそうとしていないか』『子どもを待たせていないか』などと話し合いながら保育するようにした。</p> <p>子どもの思いを尊重することは大切だが、『尊重する＝やりたくないことはやらなくても良い』ではないという事を確認し合ったり、子ども達が自らやってみたいと思う環境とはどのような環境かを話し合ったりすることを大切にした。</p> <p>自分から発信することが苦手な保護者には、こちらから子どものかわいい姿やエピソード話しかけるように心がけた。配慮の必要な子の保護者の中には、子どもを行事に参加させたくないという方もあり、保護者の思いも聞きつつ、その時点でのその子の育ちを伝え、どうするのが良いかを一緒に考えた。その結果、子どもにとっても保護者にとってもより良い方法で行事への参加ができたと思う。</p>
<p>2、施設の役割・あり方</p>	<p>※地域との交流・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き教室を利用し、地域の子育て世帯に向けて開放する『子育てルーム』を開設する。ルームの中では、給食試食会や園内散歩、育児相談など、地域の子育て家庭にとって身近な保育園になれるような取り組みを行っていく。SNSでの発信も行い、しんでん保育園の取り組みを広くアピールしていく。 学校運営協議会への参加及び、同じ校区内にある幼稚園との交流・連携を図りながら、地域全体で子どもの育ちを支えていく。また小学校の先生による保育参観や保育教諭の学習参観、幼保小接続研修の中で、意見交換をし合い、保育教諭と小学校教諭で子どもの姿を共有し子どもの育ちにつなげていきたい。 県リハ、恵光学園、富山市まちなか総合ケアセンター等関係機関との連携を強化し、子どもの発育を多方面から支援していく。 <p>地域ボランティアの方と稲作・野菜作りを協力しながら計画的に行い、給食やクッキングに取り入れ、食べる事が</p>	<p>子育てルームは、いつでもふらっと遊びにきていただけるように、また flat（凸凹がない、誰でも来ていい）なスペースであるようにという意味から『ふらっと』と名付け、まずは週に1回開催することから始めた。ホームページや親子サークルの際にPRしたが、なかなか利用してくださる方がなく、どうしたら利用者が増えるか模索の1年だった。後半はInstagramも始めたが、来て下さるのは決まった数名だった。ただ、コンスタントに来てくださる方もあったので、ニーズがないわけではないと思う。もっと存在を広くアピールしていく必要があると感じている。</p> <p>学校運営協議会の中では、地域の方と意見交換をしながら、地域に根ざしたしんでん保育園のあり方を考えてきた。小学校の先生方には、園での子どもの育ちを保育参観（参加）で見ていただくことにより、園の普段の生活の中で、子どもたちが育っている事を感じていただけたように思う。保内小学校以外の小学校とももっと連携し子どもの育ちを共有していきたい。</p> <p>地域のボランティアの方には、昨年同様子どもたちのためにと沢山協力して頂いた。子どもたちにとって、保護者、職員以外の色々な人と関わることはとても大切</p>

	好きな子を育む。	な経験となるので、今後も地域とのつながりをより深めていきたい。
3、人材育成・研修	<p>※育ち合い・認め合う職員集団に</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 日々子ども達の事を語り合う事を大切に、子どもへの共通理解を深めることができる職員集団を目指す。また職員一人一人がそれぞれの良さや持ち味を尊重し、認め合い、お互いに支え合い、自身の持つリーダーシップを発揮できるような、協働的な職場環境を作っていきたい。 ◆ 職員同士の関係は保育に表れるので、クラスミーティングの中では相手の思いをまず傾聴し、一人一人の職員が安心して自分の思いを発言できるように、またそこから同じ方向を向いて保育できるようにしていく。そして同時に年齢ごとの子どもの育ちについて理解を深めていく。 ◆ 配慮が必要な子への関わり方についてのゼミは継続して行う。また全体ゼミでは遊びと環境をテーマにし、子どものやりたいにつながる保育について考えていきたい。 <p>職員一人一人がそれぞれのスキルアップのために必要な研修を受けられるようにする。</p>	<p>子ども達一人一人の発達や子どもの姿から見えてくる気づきなどをクラス内や園内で共有するように心がけた。それによりその先の子どもの発達へ少しは繋がれるようになったと思う。しかし、子どもの発達理解はまだまだ深めていかなくてはいけないと思うので、ゼミなどで『年齢ごとの発達』を学ぶ場を設けていきたい。</p> <p>クラスミーティングに向けて、クラスでの活動に向けての話し合いの中で若い職員の声が少しずつ聞かれるようになってきたと感じる。言われたとおりにやればいいではなく、見通しがもてないながらも自分がやってみたいことを発信し、それを実行するにはどうしたらよいかを少しずつではあるが考えることができるようになってきた。</p> <p>子ども達に自分を大切にしてほしいとの思いから、外部講師の先生に来ていただき『子どもへの性の伝え方 ～大事な心と体を守るために～』という内容でゼミを開催した。プライベートゾーン(プライベートパーツ)について知らない職員も多かったので、理解を深めることができたと思う。配慮が必要な子との関わりについて悩む職員が多いが、日程調整がうまくいかず、ゼミを開催できなかったのは反省である。</p> <p>その他の研修に関しては、職員の希望を聞いたうえで、できるだけ学びたい分野の研修に参加するようにした。非正規の職員にも本人の希望があれば研修を受ける機会を作っていきたい。</p>
4、働き方改と処遇改善	<p>※より働きやすい職場環境を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 業務支援アプリの導入による事務負担の軽減を図る。 ◆ 年次有給休暇取得率は令和5年度同様を目指す。 ◆ 幼児クラスのノンコンタクトタイム取得。 	<p>アプリに関しては、指導要録などのこれまでのデータをどう移行するかなどの問題点があった。また導入当初は職員の間でも戸惑いがあったが徐々に慣れ、業務負担の軽減につながったと感じる。</p> <p>有給休暇は取得したい日に取得することができた。</p> <p>ノンコンタクトタイムに関しては、できるだけ取得できるようにしたが、足りないとの声もあり、どれだけ時間があるのが妥当なのかが難しいと感じている。</p>
5、施設改修等	<p>※安全・安心の見直し・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 給食室のエアコンの入れ替え ・ 廊下の窓ガラスの入れ替え ◆ 園庭の整備(倉庫・遊具の修繕など) 	<p>給食室のエアコンの入れ替えはできたが、他にも効きが悪くなっているエアコンがあるので、順次入れ替える必要がある。保育室の扉も閉閉しづらくなっているので早めに修繕したい。</p> <p>災害時備蓄品を入れる倉庫もしくはスペースを早めに確保したい。</p>

令和6年度事業報告

しんでん保育園

- 4月 進級式 入園式 園児検尿 保育参観・保護者会総会
- 5月 春の遠足(年齢別) いも苗植え 運動能力測定 田植え・野菜の苗植え(地域の方と)
内科検診 歯科検診 年長お泊まり保育(立山青少年自然の家)
ファミリーデー
- 6月 花の苗植え(年長児と民生委員さん) 観劇の会 防火教室
視力測定 眼科検診 お店屋さんごっこ 1. 2歳児保育参加
- 7月 竹馬作り プール開き こども夏祭り 14歳の挑戦(八尾中)
保育実習(八尾高校福祉コース)
- 8月 園外保育(年長・立山青少年自然の家) 同窓会(1・2年生) ナイト保育(年中)
- 9月 運動会 秋の遠足(幼児クラス) 0歳児保育参加
- 10月 3. 4歳児保育参加 来拝山登山(年長) いも掘り(年長) 遠足(2歳児)
八尾園芋ほり(年中) 焼いもパーティー 運動能力測定
- 11月 民生委員さんと球根植え(年中) 生活発表会予行練習(年長祖父母発表会)
保内祭(年長)
- 12月 生活発表会(幼児) ハートフルクリスマス(八尾観光会館・年長)
5歳児保育参加 クリスマス会
- 1月 冬の親子遠足(年長親子)
- 2月 2歳児保育参観⇒大雪の為動画配信 節分の集い
- 3月 ひな祭りの集い お別れ会 ありがとうの会(年長児の祖父母を招いて)
卒園式 修了式

令和6年度 児童在籍・特別保育の事業実績数（しんでん保育園）

	2・3号				計	1号				計	総合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育				
	0歳児		1・2歳児			3歳児		4・5歳児				満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児				標準	短(前)	短(後)	1号
	1	2	3	4		5	6	7	8													
4月	1	26	13	48	88	0	3	1	6	10	98	3	0	3	37	0	1	0				
5月	1	27	13	49	90	2	3	1	6	12	102	22	4	2	39	0	1	0				
6月	2	27	13	49	91	2	3	1	6	12	103	21	1	3	32	0	1	0				
7月	5	27	13	49	94	2	3	1	6	12	106	21	0	4	92	0	1	0				
8月	6	27	13	49	95	2	3	1	6	12	107	2	15	18	129	0	0	0				
9月	7	28	13	49	97	2	3	1	6	12	109	6	7	5	96	0	3	0				
10月	8	27	13	49	97	2	3	1	6	12	109	28	18	17	103	1	2	0				
11月	9	28	13	49	99	2	3	1	6	12	111	15	0	2	128	1	0	0				
12月	9	28	13	49	99	2	3	1	6	12	111	14	0	1	127	0	0	0				
1月	12	28	13	49	102	2	3	1	6	12	114	16	0	3	108	1	1	0				
2月	12	27	13	49	101	2	3	1	6	12	113	21	0	6	114	0	3	0				
3月	12	27	13	49	101	2	3	1	6	12	113	12	0	1	101	1	3	0				
計	84	327	156	587	1,154	22	36	12	72	142	1,296	181	45	65	1106	4	16	0				

前年度 71 352 257 594 1,274 20 27 66 24 137 1,411 109 2 4 487 4 5 0

前年比 13 -25 -101 -7 -120 2 9 -54 48 5 -115 72 43 61 619 0 11 0

令和6年度 基本方針に対する到達点

石金こども園

ねらい	施策	到達点
<p>1、質の高い保育の実現の為に</p>	<p>☆主体性と環境と自由が不自由にならないように☆</p> <p>目の前の子どもの姿から見えてくる子ども達の「やりたいこと」や「やってみたいこと」を発展できるよう、職員間で話し合いながらよりよい生活や遊びの環境設定を考えていきたい。また、子ども自身がやりたいことを自由にできる時間はもちろん大事であるが、一斉に行う活動も子どもの興味関心を広げ、発達を促さえるためには大事なことであることも事実であるため、その辺りのバランスや子どもの心持ちを考えていきたい。そのためには、子どもの発達過程がわかりその年齢にふさわしい活動なのかどうか吟味しなければならない。そこで、1年かけて職員と一緒に石金こども園の強みと弱みを出し合い、強みを伸ばし弱みを改善できるようにしていきたい。また不適切保育に陥らないようにするためにも、職員が子どもの心や思いをより深く考えられるように、身近な事例やエピソードの検討ができるようにしていきたいと思っている。</p> <p>保護者参加や祖父母参加の行事を充実させ、共に子ども達を育て、子育ての喜びや大変さを分かち合えるようにしていきたいと思っている。</p>	<p>目の前の子ども達の姿から見えてくる「やりたいこと」や「やってみたいこと」を発展させることが少しずつできた年であったと思う。そのための環境整備の工夫も各クラスで試行錯誤しながら行うことができたのではないかと考えている。また、自由な活動と一斉とする活動のバランスが適切であったかは、これからも吟味していかなければならないと思うが、保育者の指示ばかりで動かすような保育にはなっていないかと思っている。また、各年齢の発達過程の理解は今後ももっと深めていく必要があると思われる。石金こども園の強みと弱みを出し合い、強みを伸ばし弱みを改善するとしていたが、全く着手できておらず、反省である。身近なエピソードを検討するような機会も持てなかったことも反省であるが、クラス会議では子どもの心についても話し合えたのではないかと考えている。</p> <p>保護者参加、祖父母参加の行事を1歩進められたことは良かった。今後ますます子どももだが保護者も経験不足の傾向がみられるので、来年度以降も保護者も巻き込んで、子育ての楽しさを味わえるような行事を考えていきたいと思っている。</p>
<p>2、施設の役割・ありかた</p>	<p>☆地域や専門機関との連携と学童クラブの創設☆</p> <p>地域とのつながりに関しては、できることをコツコツとやっていきたいと考えており、地域から要望されたことに関してはできるだけ応えていきたい。また、園が外部の方に見られているという事を意識し、園舎周りをきれいに保ち、近隣の皆さんも気持ちよく過ごせ、地域に応援される施設を目指していきたい。</p> <p>様々な家庭背景があり、地域の関係機関との連携が必須である。園でできることには限界があるが、“親子の幸せ”のためにできる支援をしていきたい。また、個別に配慮が必要な園児の対応を今年度も専門機関と連携しながら進めていきたいと思っている。</p> <p>また、令和7年度の学童クラブ創設に向けて、着実に計画を進め、近隣の方に認められる安心安全な学童クラブとなるよう頑張っていきたい。</p>	<p>地域からの要望については、確実に応えることができたと思っている。また、園舎の周りは、職員の皆さんのおかげできれいに保ち、周辺の皆さんも気持ちよく過ごすことができたのではないかと考えている。</p> <p>見守り家庭の支援は、園でできる範囲ではあるがクラス担任とも協力し、関係機関と連携しながら最善の支援ができたと思っている。また、保護者対応に困った時には、担任と相談しながら対応することができたのではと思っている。個別に配慮が必要な子どもの対応には、苦戦することも多かったが、先生方が試行錯誤を繰り返しながら、一人一人が過ごしやすい環境を整えることで、その子自身がだんだん落ち着いて過ごせるようになったと思っている。先生方の努力に頭が下がるばかりである。</p> <p>学童クラブの創設は、担当職員が力を発揮してくれ、確実に事業を進めることができた。来年度はよりよい学童クラブになるよう頑張っていきたいと思っている。</p>

<p>3、人材育成・研修</p>	<p>☆自ら考え成長する職員集団へ☆</p> <p>公立保育所からの民営化も7年目を迎え、充実した職員集団となってきているのは事実であり、頼もしい限りである。そこで、今年度も職員それぞれが自分の立場や役割を考え、自ら動ける職員集団を目指したいと思っている。そのために、様々な困り事等を職員間で話し合っ決めてられるよう、話し合う時間の確保をしっかりと行っていきたい。特に3歳以上児クラスは、なかなか話し合う時間が取れない現状があるので、乳児クラスの職員にも協力してもらい時間を確保していきたい。そして、いろいろな思いを安心して提案できる風土を作っていく、トップダウンで決定する時は、職員が納得できるような決断ができるようにしていきたい。</p> <p>研修は積極的に参加できるように配慮し、園内研修では非正規の先生方にも参加してもらえようオンラインと参集形式の両方を活用し充実できるようにしていきたい。</p>	<p>“自ら考え成長する職員集団”に着実に成長していると思っている。今年度は行事の環境整備も役割を決めたことで、係が自ら音頭を取ってやってくれたり、行事の実施に対しても、職員一人一人が役割を理解し、自ら動くことができている、大変頼もしかった。話し合いの時間も副園長が意識して確保してくれたので、昨年度よりクラス会議や学年会議が充実したものになったのではないかと考えている。いろいろな思いを安心して提案できる風土を作ることができたかと問われれば、まだまだであり、職員が納得できるトップダウンの決断ができたかも疑問であり、今後の課題だと思っている。</p> <p>外部の研修には、積極的に参加できたと思っているが、園内研修に関しては、思うように進めることができず、反省しかない。非正規の先生方も一緒に受けることができるオンライン研修も実施できなかったため、来年度はもっと計画的に進めていきたいと思っている。</p>
<p>4、働き方改革と処遇改善</p>	<p>☆仕事の効率化と事務時間の確保☆</p> <p>ICカードによる勤怠管理がさらに進む今年度。さらなる仕事の効率化を職員全体で考え実行していきたい。そのためにもICT化をもう1歩進め、さらなる事務時間や話し合いの時間、休憩時間の確保につなげていきたい。昼寝のないクラスの日々の事務や保育の準備をする時間を勤務時間内で確保できるよう、当事者からの提案も生かしながら、工夫していきたい。また、長くやりがいを持って働き続けられるよう、それぞれに合わせた働き方を提案できるようにしていきたい。</p>	<p>ICカードによる勤怠管理が定着して、より働きやすくなったと実感している。保育のITC化は今年度どうだったか、そして、今後どうしていけばいいのかが議論の余地があると思っている。今年度は職員の確保もしっかりできたため、事務時間や話し合いの時間を確保することができ、日々の事務や保育の準備の時間も随分確保できたのではと思っているが、まだ、改善の余地はあると思うので、来年度もより良くなるよう工夫していきたい。様々な働き方の提案もできたと思っているが、職員のメンタル面のフォローがなかなか難しく今後の課題だと思っている。</p>
<p>5、施設改修等</p>	<p>☆日々の安全対策と遊びの環境の整備☆</p> <p>石金こども園は今の園舎となり10年以上が経過し、少しずつ修繕が必要になってきているので、未来も見据えながらどんな補修や改善が必要なのか考えながら進めていきたいと思っている。今年度はまず、電灯のLDE化を進め、光熱費高騰に対応していきたいと思っている。また、今年度も日々の安全点検から見えてきた修繕や改善をしっかりと行っていきたいと思っている。また、より遊びが発展するよう、必要な遊具や用具の購入を考えている。</p>	<p>今年度は1階の電気のLED化を実施することができて、良かった。2階は来年度実施する予定である。また、園庭の築山の周りにゴムチップを敷き、安全に遊べるようになってきたことも良かった。</p> <p>クラスから要望のあった遊具の購入を計画通り進めることができなかったことが反省である。日々の細かい修繕は、月2回行っている安全点検をもとに、用務の先生方のおかげで、素早く対処できたのではないかと考えている。</p>

令和6年度事業報告

石金こども園

- 4月 進級式 入園式 おはなしワールド（年長）→東部図書分館
視力検査 春の遠足（年長）→太閤山ランド
- 5月 保護者会総会 保育参観
春の遠足（年中）→ファミリーパーク
（年少）→岩瀬スポーツ公園
園児検尿 視力検査 運動能力測定
お泊まり保育（年長）→立山青少年自然の家
- 6月 内科検診 歯科検診 プラネタリウム鑑賞（年長）
石金防災訓練 保育参加（年中・年少）
- 7月 セタの集い プール開き 夏まつり（2歳児・幼児クラス） 防火教室
保育参加（年長・2歳児） 14歳の挑戦（東部中）
- 8月 同窓会 個別懇談会（年長・希望者）
- 9月 運動能力測定 2歳児遠足（朝菜町堀川公園） ハローキッズ撮影会（年長）
運動会（年少） 14歳の挑戦（山室中）
- 10月 2歳児遠足（朝菜町堀川公園）
運動会（年長・年中）→不二越体育館 保育参加（0・1歳児）
秋の遠足（年長・年中）→魚津水族館・ミラージュランド
（年少）→常願寺川公園
歯科検診 内科検診 視力検査 14歳の挑戦（堀川中）
やきいもパーティー 幼児とのふれあい体験（東部中学校）
- 11月 生活発表会（3歳児）
- 12月 生活発表会（年長・年中・2歳児） クリスマス会
ぴべっとさんのクリスマスコンサート
- 1月 新年お楽しみ会 冬の自然体験（年長）→立山青少年自然の家
成田山節分会（年長） すきすき！ビーちゃん取材（年長）
- 2月 節分の集い 山室小交流会 東部小交流会
- 3月 ひなまつりの集い お別れ会 祖父母感謝の集い 卒園式
終了式

令和6年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(石金こども園)

	2・3号				計				1号				計	総合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育	病児・病後児
	0歳児		1・2歳児		3歳児		4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児			標準	短(前)	短(後)	1号				
	4	76	50	94	224	0	4	4														
4月	4	76	50	94	224	0	4	4	4	5	13	237	116	23	104	5	2	0	15			
5月	4	78	50	94	226	0	4	4	4	5	13	239	117	1	6	11	2	0	24			
6月	6	79	49	94	228	0	4	4	4	5	13	241	115	3	5	7	17	0	14			
7月	8	82	49	94	233	1	4	4	4	5	14	247	140	0	2	14	15	0	24			
8月	8	82	49	94	233	1	4	4	4	5	14	247	99	9	8	6	13	0	15			
9月	9	82	49	94	234	3	4	4	4	5	16	250	110	9	6	16	11	0	13			
10月	10	81	49	94	234	5	4	4	4	5	18	252	129	18	6	12	15	0	12			
11月	13	79	49	94	235	5	4	4	4	5	18	253	111	5	9	15	16	0	12			
12月	13	79	49	95	236	5	4	3	3	5	17	253	140	0	2	14	18	0	15			
1月	13	78	48	95	234	6	4	3	3	5	18	252	134	2	1	13	17	0	11			
2月	14	78	47	95	234	6	4	3	3	5	18	252	152	0	2	8	17	0	13			
3月	14	78	47	95	234	6	4	3	3	5	18	252	107	1	24	12	12	0	16			
計	116	952	585	1,132	2,785	38	48	44	60	190	2,975	1,470	71	94	1,411	133	155	0	184			

前年度 114 1,005 540 1,134 2,793 7 81 80 80 60 228 3,021 1,807 106 195 2,047 107 12 9 290

前年比 2 -53 45 -2 -8 31 -33 -36 0 -38 -46 -337 -35 -101 -636 26 143 -9 -106

令和6年度 基本方針に対する到達点 下堀こども園

ねらい	施策	到達点
<p>1、質の高い保育の実現の為に</p>	<p>★子どもの1日1日を大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開園して4年目に入る。行事の在り方を模索中だが、日々の保育を大切にしながら、子どもの主体性を尊重した保育から行事に繋げていきたい。 ・養護を基盤とした月齢別の保育を進める。(未満児は月齢別のクラスとし、少人数でゆったりとしたかわりを大切にしていこう) ・インクルーシブ保育の推進。個別配慮児の落ち着ける場所と人材の確保をする ・おいしい給食の提供～毎日が食育！ ・大人は子どもの心地よい身近な目標となる <p>★保護者の子育ての伴走者となる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の行事に参加してもらうだけではなく、日々の保育についても子どもの姿を伝え共有できるようにする。 ・保護者を尊敬し、よりよい関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのやってみようというワクワクと先生たちの楽しい思いを日常の保育に取り入れていった。 ・広い園庭やグラウンド、隣接の公園などの環境を活かした戸外活動が多く、子どもたちの情緒の安定にも繋がった。 ・お泊り保育や園外保育などの自然活動ではストーリー性を大切に、活動に没頭できるような工夫が多くあった。 ・のんびりばやしは一時保育室としても活用したが、個別配慮児の環境としては、より改善が必要だったと思う。 ・食育活動では子ども達が栽培・収穫した野菜でクッキングを楽しんだ。また担任、栄養士、調理員が連携して給食の食材の紹介、目の前で見て触ってみる。3色食品群の話しを聞くなど食に関心をもてるようにしていった。 ・保護者の育児相談を受けることも増えてきたと感じる。ありのままの子どもの姿、保護者の思いを受け止めていった。相談のスペースは落ち着ける空間であること、時には温かいお茶でリラックスできることを心がけていった。
<p>2、施設の役割・あり方</p>	<p>★地域の子育て支援の場としての役割の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育専門クラスの設立をし、断らない一時保育を目指す。親子サークルは2年目に入り、さらに地域の子育て家庭の集いの場としての役割を果たしていきたい。 <p>★関係機関との連携を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有や互いに学び合える場を作り、小学校との連携を深める。 ・医療ケア児・個別配慮児など関係機関との連携を取りながら、支援の幅を広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「断らない一時保育」をモットーに進めていたがすべて受入れとはいかなかった。各年齢の部屋と連携し一緒に過ごす時間も設けるなど工夫し、保護者のニーズに応えられるよう柔軟に対応した。 ・親子サークルは多くの希望者があったが、年齢月齢に合わせての2部制にすることで断ることなく多くの親子が参加することができた。地域の子育て家庭のフォローは大切な役割であり、ゆったりと話をし、交流の輪をつなげたり、園児との交流を楽しんだりすることでホッとする場を目指した。 ・フィールドスタディーなどの高校生受け入れや高等支援学校の生徒の受け入れなど、園で学ぶ機会を希望された場合は必ず受けた。職員や園児にも良い影響があったと感じる。子どもたちと触れ合う体験は、こども園の仕組みや現在の子育て環境の状況など知ってもらう機会であり、子育て次世代の育成に繋がることを感じた。 ・小学校との連携を密にとるよう配慮した。幼児教育センターの訪問研修には、近隣小学校の先生にも参加して頂き、子ども園での取り組みをじっくり見て頂く機会となった。 ・定期的に、「作戦会議」と称し恵光学

		<p>園・まちなか総合ケアセンター（発達支援室）から2名の臨床心理士の方に来て頂き心身の発達の遅れが心配されるお子さんの集団での困りごとや配慮について話し合った。</p> <ul style="list-style-type: none"> • また、地域の相談役の方のご指導により、園長・副園長は防災士の資格を取得することができた。今後、子どもと職員の安全を守るための防災の取り組みを考えて行きたい。
3、人材育成・研修	<ul style="list-style-type: none"> ★お互いを認め合える職員集団を目指して • 温かい人間関係のもと、「お互いを思いやる気持ち」を大事に働けるよう配慮する • 新人職員の育成。 ★こども理解を深める • 子どもの事を話す場を設ける • 発達や保育について学ぶことが出来るよう、園内研修を工夫し充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> • 学年会議を行い、正規だけでなく臨時職員も含め、意見を出しながらクラス運営が出来るようにしていったが、話し合う内容は報告事項が多くなりがちであった。 各職員の学びや思いをより引き出せる方法を工夫することが今後の課題である。 • 救命救急の研修は2度行い福祉会内の他園からの参加もあった。 • 個別配慮児も増えてきたので、担任だけではなく職員全体で共通理解を図ることが大事になってくるためさらに定期的なケース会議の必要がある。
4、働き方改革と処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ★仕事の効率化・体制作り • ICT の活用を推進する。 • 行事の削減・スリム化を考える • 放課後学童支援員資格の取得 	<ul style="list-style-type: none"> • 事務時間は学童の担任もフォローに入ってもらえる環境もあり、体制をみながら十分に確保できるように配慮した。 • 放課後学童支援員の資格は園の体制をみながら多く取得できた。今後も順次取得を進めていく。 • 年次休暇は計画的に取得できていたが更なる取得促進をめざす。
5、施設改修等	<ul style="list-style-type: none"> • 2階あなぐらの活用方法を検討 • 保育室の環境を考える 	<ul style="list-style-type: none"> • 能登地震の、年長と年中クラスの防煙垂れ壁のガラスは補助金での修繕が完了した。その他安全点検は毎月しっかりと行うようにした。 • 園独自の遊具空間（すりばち洞窟）で子どもの骨折事故が1件あり、市に報告することがあった。子どもは順調に回復したものの、園全体の様々なスペースの遊び方や危険個所がないか等職員全員で洗い出す作業を行い、話し合った。危険をすべて排除ではなく、常に安全を意識し、配慮を怠らず子ども達により楽しい遊びを経験させる事を話し合った。
6、その他		<ul style="list-style-type: none"> • 園庭の除草は職員で協力して行った。有志の方に芝刈り機をお借りすることができ効率が少し上がりありがたかった。

令和6年度事業報告

下堀こども園

- 4月 進級式 入園式 交通安全教室 園児検尿
園外保育（年長：ひらりんの森） 春の遠足（年長：おとぎの森公園）
- 5月 クラス懇談会（年長） 歯科検診 内科検診
春の遠足（年中・年少：共に八尾消防署・しんでん保育園）
保育参観・保護者会総会
- 6月 お泊り保育（年長：立山青少年自然の家） 朝乃山来園
眼科健診 プラネタリウム（年長）
- 7月 七夕の集い 個別懇談会（家庭訪問） プール開き 年中・年長お昼寝開始
竹馬作り（年長） 夏まつり ナイト保育（年中）
- 8月 園外保育（年長：沢）
- 9月 運動会予行練習 運動会（年長・年中） ねいの里出前講座
- 10月 運動会予行練習 運動会（年少）
秋の遠足（年長…来拝山登山
年中…魚津水族館
年少…岩瀬スポーツ公園）
芋ほり（しんでん・わかば合同）
焼きいもパーティー 2歳児遠足（奥田公園）
歯科検診 内科検診
- 11月 視力測定 生活発表会予行練習
生活発表会（年長・年中） 親子交流会（0・1歳児）
- 12月 生活発表会（年少・2歳児） クリスマス会
3Rスクール ヤクルトおなかげんき教室
- 1月 新年お楽しみ会 冬の遠足（年長） 相撲大会
- 2月 節分の集い お店屋さんごっこ 防犯教室
- 3月 ひなまつりの集い 親子交流会（年長：富山県総合体育センター）
お別れ会 卒園式 終了式

令和6年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(下堀こども園)

	2号3号認定				計	1号認定				計	合計	延長保育				一時保育	年末保育	精児・精後児				
	0歳児		1・2歳児			3歳児	4歳児	5歳児	満3歳児			3歳児	4歳児	5歳児	標準				短(前)		短(後)	1号
4月	4	34	22	44	104	0	5	5	5	5	5	90	1	6	138	20	7					
5月	5	34	22	44	105	0	5	5	5	5	5	86	2	7	99	29	35					
6月	6	34	22	44	106	0	5	5	5	5	5	85	1	3	107	18	15					
7月	7	34	22	44	107	0	5	5	5	5	5	85	9	9	117	14	23					
8月	7	35	21	44	107	1	5	5	5	5	5	78	0	9	168	1	10					
9月	10	35	21	43	109	1	5	5	5	5	5	90	0	6	117	9	7					
10月	10	35	21	43	109	2	5	5	5	5	5	97	0	15	122	8	23					
11月	10	35	20	42	107	3	5	5	5	5	5	83	0	20	129	10	15					
12月	10	35	21	42	108	3	5	5	5	5	5	76	0	14	127	7	12					
1月	13	35	21	42	111	3	5	5	5	5	5	67	3	14	138	3	28					
2月	13	34	21	42	110	3	5	5	5	5	5	63	0	15	133	6	24					
3月	13	34	21	42	110	3	5	5	5	5	5	78	4	14	159	7	22					
計	108	414	255	516	1,293	19	60	60	60	60	60	978	20	132	1,554	132	0	221				

前年度 108 403 264 479 1,254 18 46 69 51 184 1,438 906 84 130 1,216 223 0 256

前年比 0 11 -9 37 39 1 14 -9 9 15 54 72 -64 2 338 -91 0 -35

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現のために	<p>◎安心、安全、家庭的な雰囲気を大切に 子ども達にとって居心地の良い空間となるよう、まずは職員同士のコミュニケーションを大切にしていける。小規模保育の良さを活かしながら子ども主体の丁寧な保育に心がける。 職員全体で子どもの成長を喜びあい、ラベル付けすることなく一人一人の個性を大切に、日々の温かな会話を大切にしていきたい。 保護者の不安や心配を考慮しながら、少しでも多くの園内情報を発信していけるようスピード感をもって対応していきたい。</p>	<p>保育士の平均年齢が若干若くなり、男性保育士も加わったことで更に活気のある園となった。職員同士のコミュニケーションを大切にすることから、子どもの主体的な動きや活動においても意識することができるようになり、過ごしやすい雰囲気作りができたと感じる。 送迎時等に保護者との会話から一早く気づいてあげることができ、すぐに対応できたのは良かった。又、園内には支援センターもあるのでセンターの職員と連携しながら、温かく親子を見守ることができた。 親子遠足や、園外保育等、時期を逃さず楽しむことができたのは、職員同士の連携がうまくいっていたからだと感謝している。園外保育は小規模園での交流も深まり、大変有意義なものでした。</p>
2、施設の役割・あり方	<p>◎地域に根ざした暖かい保育園づくり 神宮寺にお参りの方や地域の方、業者さんの訪問や電話対応など、職員一人一人が明るくきちんと対応することを心がけていきたい。又、基本的な事ではあるが、職員の言葉遣いや身だしなみにおいても再度確認し、イメージを大切にしていきたい。 施設見学の親子は緊張しながら訪問される方もいるので、温かく迎え入れ、一時保育や支援センターの存在を知らせながら情報提供を心がけたい。</p>	<p>小規模園には遊戯室や園庭がない分、どんどん外に行き気分転換に出かけた。子ども達も嬉しい気持ちになった。人と触れ合うことの大切さを感じ取る良い機会になった。 人口減少が進行中の中でも、一時保育の利用そして施設見学に来園してくださった親子には感謝しています。 にこここ園の存在をもっとアピールしていかななくてはと思います。</p>
3、人材育成・研修	<p>◎0、1、2歳児一人一人の『らしさ』を追求する 職員全体で乳児保育の学びを深める機会を積極的に行っていきたい。子どもの月齢にあった対応は、発達の先取りをするということではなく、子どもに寄り添った保育をするということをモットーに取り組んでいく。 又、「させなきゃいけない」という誤った保育とならないよう話し合っていきたい。その中で、子ども一人一人の「らしさ」を認め、「その子の良さ」として見守っていけるような雰囲気づくりをしていきたい。又、職員一人一人の気づきやアイデアを活かし、園全体で楽しみながら、達成感と自信に繋げていけるよう盛り上げていきたい 新しく副主任保育士が2名配属されることにより、様々な事務時間が増えるため、研修を含め作業の配分を考えていきたい。</p>	<p>毎月のクラス会議では、年齢ごとの月案を検討し、その時のクラスの状況や一人一人の子どもの様子をクラス担任全員で話し合った。担任の思いと、客観視する者（園長、副園長）との思いを伝え合うことで、その都度環境を見直すことができた。その継続こそが、園全体の職員の意識へとつながり、子どもの成長にも影響が出るのだということを感じた。また、年度当初には富山でも不適切保育の事象があり、決して忘れてはいけないことです これからも職員が満足できる達成感にて保育に自信をつけてもらいたいと思います。</p>
4、働き方改革と処遇改善	<p>◎様々な働き方と効率の良い仕事 タイムカードの導入にて職員の働き方を理會し、又、事務時間のとり方を工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。又、年次有給休暇は計画的にとれるようにする。</p>	<p>子育て家庭の職員が多く、休みが重なることもあったが、職員の保育力がついてきていることと、支援センターの職員の協力があつたことで困難をのりこえることができた。空いた時間を工夫しながら事務時間をとることができた。</p>
5、施設改修等	<p>◎保育を充実させるための環境作り 地震で受けた災害箇所の修繕をできる限り早くし、保護者や園児に不安を与えないようにする。</p>	<p>能登半島地震での施設への影響においては、防災対策等をしっかりと取り組み、修繕等をできました。</p>

令和6年度 事業報告

わかばにこにこ園

4月	お花見散歩	全園児
5月	クラス懇談会	全保護者
7月	七夕の集い	全園児
8月	プール遊び	全園児
	夏祭り	全園児
9月	0～2歳児親子遠足	全園児
10月	にこにこ運動会(学童園庭)	全園児
	ハロウィンパーティー	全園児
11月	保育参加	全園児
	園外保育	うさぎ組
12月	クリスマス会	全園児
1月	新年お楽しみ会	全園児
2月	節分の集い	全園児
	お店屋さんごっこ	全園児
3月	ひなまつりの集い	全園児
	ありがとうお別れの会	全園児

- ※誕生会は個人にあわせて各クラスで実施
- ※健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施
- ※眼科検診は春1回
- ※身体計測は月1回実施
- ※検尿は年1回(4月)
- ※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応訓練は年4回実施
- ※交通安全指導は月1回
- ※個別懇談会(春は希望者のみ・冬は2歳児のみ)

	0歳児	1歳児	2歳児	合計	延長	一時	休日	年末
4月	1	5	7	13	19	1	0	
5月	1	5	7	13	25	5	0	
6月	1	5	7	13	24	6	0	
7月	2	6	7	15	29	1	0	
8月	3	6	7	16	20	2	0	
9月	4	6	6	16	27	1	0	
10月	4	6	6	16	33	7	0	
11月	4	6	6	16	33	9	0	
12月	5	6	6	17	26	8	0	
1月	5	6	6	17	19	6	0	
2月	5	6	6	17	20	6	0	
3月	6	6	6	18	27	11	0	
合計	41	69	77	187	302	63	0	
前年度	29	72	72	173	276	12	0	
前年度比	12	-3	5	14	26	51	0	

項目	ねらい・重点施策	到達点
<p>1、質の高い保育の実現の為に</p>	<p><u>1、子どもにとって居心地良い時間・空間に</u> 小人数ならではの家庭的保育を継続して行う中で、子どもひとり一人に応じたきめ細かい、そして子どもの思い・発見・成長を見逃さずしっかり受け止められるような保育を心がける。 0.1.2 歳児の異年齢の子どもたちがそれぞれの生活に無理のないように、発達に応じて変化のある環境の工夫を行う。(人的環境、室内環境等) 特に0歳児の生活・遊びの見直しを重点に(おもちゃ・散歩の仕方など) <u>2、保護者と一緒に子どもの成長を喜び合えるように</u> 必ず担任が会える利点を生かし、保護者の気持ちや悩みに寄り添い、共に子育てをし、共に育ち合う保育をめざす。またきっぷすノートを活用して、リアルタイムに子どもの様子を伝えて安心して働いてもらえるようにする</p>	<p>☆子ども一人ひとりのその時期の様子など、職員全員で共有し、同じ思いで子どもに向き合えるように、話し合いを密に持つようにした。 ☆今年度は職員も変わらず、4月当初は新入園児もいなかったため、ゆったりと落ち着いて過ごすことが出来て、一人一人の思いやりた遊びを汲み取りながら保育を進めて行くことができたと思う。 ☆室内環境は、前半0歳児がいなかったため、いろいろな設定を試みる事ができた。でも結局1つのところにみんな集まって遊ぶ姿が見られて面白かった。0歳児さんが増えてからは、エリアを分けたりしながら、お互いが無理なく生活できるように工夫した。 ☆雨が降っていない日はほぼ戸外に出掛けた。年齢差がある為行先によって2グループ、3グループに分かれて行動した。 ☆担任が送迎時に保護者と話す機会を持つように心がけた。子ども達の成長を共に喜び合い、子育ての悩みを共有することが出来たと思う。 ☆きっぷすノートは気軽に連絡できる手段として活用しやすく、写真の更新も頻繁に行うことが出来た。</p>
<p>2、施設の役割・あり方</p>	<p><u>1、「ホクタテ」さんとのつながりを大切に</u> 園の状況を定期的に伝え、関係を今後も大切につなげていく。またホクタテの事業所内という位置づけを外部の方にも知ってもらうために、HPなどへの掲載を依頼してみる。 <u>2、地域との交流を丁寧に</u> 園周辺で散歩をしたり、公園に行ったりと出掛ける機会を多く持つ中で、地域の方と挨拶を交わす等、触れ合いを大切にしていく。</p>	<p>☆以前ほどの関りはなくなったが、必要な時には必ず顔を出して話をしたり、ホクタテさん側からもご連絡いただいたり丁寧に対応した。今年度は警備の失敗もなく良かった。 ☆園独自のHPとInstagramを開始することが出来た。定期的に情報を更新していくようにする。 ☆散歩の際には、地域の方や他園の方への挨拶をしっかりと行い、温かく見守っていただけ良かった。</p>
<p>3、人材育成・研修</p>	<p><u>1、「乳児保育」とは？をいつも念頭に</u> 乳児保育の学びをより深めこども主体の保育ができるよう、資料なども探して自己研鑽に励めるようにする。乳児に合った行事のあり方を改めて考える。 <u>2、話し合うことによって成長できる職員集団に</u> 定期的に時間を作り、また気になる事例があった時はすぐに発信し職員全員で話し合う機会を多く持つようにする。 それぞれの保育に対する考えは違うのは当たり前で、その中でお互いの保育をすり合わせ、高めあえるような仲間になれるよう、それぞれが意識しながら話し合いに臨む努力をする。</p>	<p>☆毎日の生活や行事をそのまま継続していくだけでなく、前年度の経験を活かして、より子ども達が楽しめるようにみんなで模索していった。 ☆休憩時間を利用し、会議だけでは話足りない分、園児達の様子を話し合い共有、認識しながら保育に活かした。とても有意義な話し合いが多く持てたと思う。 ☆研修にはなるべく多く参加出来るようにした。勉強したことは他の職員に報告をしてみんなの知識になるように話し合いの機会を多く持った。 ☆職員が変わらなかつた事もあり、関係性がうまくいかず、相談を受けたり個別に面談したりする事もあった。小さな集団なので人間関係を壊さないようにしていくことは、難しいと感じた。</p>

	<p><u>3、園内研修を充実させる</u> 参加した研修の学びを伝えあったり、書籍から参考になる文章を紹介したり、日々の中でも学ぶ姿勢を持つようにする。また他の園の研修に参加させてもらう等、同じ小規模保育園（他法人でも）と一緒に学ぶ機会を持つ。</p>	<p>☆研修のアウトプットを心がけ、実際の保育の中で提案をしたり、新しい知識や情報を共有したり出来るようにした。また園内も改善できるようにみんなで意見を出し合った。 ☆小規模保育園の事を学ぶ研修等がなく、もっと情報交換や視察できる機会があれば良いなと思う。</p>
4、働き方改革と処遇改善	<p><u>1、支えあう職場環境を模索する</u> 小さな職員集団の中でみんなが無理せず働けるよう、有給・振替休日・事務時間・保育の準備時間を取得できるように工夫する。</p>	<p>☆有給休暇の取得は全員が10日以上取得した。自分の取りたいときに取れるようお互い様の気持ちで、みんなでカバーすることが出来たと思う。 ☆事務時間は公平に確実に取得することが出来た。子どもが少ない時には声を掛け合って時間を有効に使った。</p>
5、施設改修等	<p><u>1、ワンフロアを出来るだけ広く効率よく使う工夫の継続</u> 環境向上事業の活用 ホクタテさんの空き部屋の利用 <u>2、園独自のSNSの作成、運営</u> 園の存在をもっと知ってもらうための方法を模索する。</p>	<p>☆子どもが少ない時は部屋を広くして、好きな場所で好きなおもちゃで遊べるようにした。また今年も押入れの中をより整理し、よく使う遊び道具を楽に出せるようにした。 ☆今年も別部屋を使う事はあまりなかったが、早く起きた子をワゴンに乗せて散歩に行ったり、会議室で遊んだりした。今後も必要な時は利用していきたい。</p>
6、その他	<p><u>1. さまざまな感染症対策のさらなる強化</u> <u>2. 小規模3ヶ園での連携・情報交換、また他法人の小規模園との交流</u></p>	<p>☆今年度は感染症が流行る事はなかったが、ワンフロアの生活の中で、これからも徹底して対策をしていきたい。 ☆今年度も3園合同の行事を行うことが出来た。体制が変わってもこういう機会が増えていくとお互いの学びになると思った。 他法人の小規模保育園との情報交換が出来れば良いなと思う。</p>

令和6年度 事業報告 きぼう保育園

- 4月 お花見
- 5月 保育参加ママバージョン
- 6月 園外保育（朝菜町堀川公園）
- 7月 七夕の集い 水遊び 保育参加パパバージョン（水遊び）
園外保育（じゃぶじゃぶ池）→**猛暑の為中止**
- 8月 小規模3園合同水遊び（わかばにこにこ園へ）
- 9月 親子運動会（2園合同）場所：石金こども園
- 10月 2歳児遠足（雨の為下堀こども園） 園外保育（四季防災館） ハロウィンパーティー
- 11月 親子遠足（空港緑地公園） 小規模3園合同園外保育（奥田公園）
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年お楽しみ会（退園す2歳児の保護者招待）
- 2月 節分の集い 災害時引き渡し訓練 個別懇談会 お楽しみ会（おおきなかぶごっこ）
- 3月 ひな祭りの集い、災害時総合訓練（ホクタテさんと合同で）
お別れ園外保育（電車に乗って新幹線を見に行こう）
進級する2歳児の誕生日会とおわかれ会・クッキングパーティー（保護者招待）

◇子どもの人数◇

	0歳児 地域枠	0歳児 従業員枠	1歳児 地域枠	1歳児 従業員枠	2歳児 地域枠	2歳児 従業員枠	計	延長 短(前)	延長 短(後)	延長 標準	一時 保育
4月	0	0	0	4	1	1	6	4	5	0	0
5月	0	0	0	4	1	1	6	5	5	0	4
6月	0	0	1	4	1	1	7	4	4	0	0
7月	0	0	1	4	1	1	7	5	4	0	0
8月	0	0	1	4	1	1	7	3	4	1	4
9月	2	0	1	4	2	1	9	4	3	12	0
10月	3	0	1	4	2	1	10	5	2	19	0
11月	3	0	1	4	2	1	10	4	5	19	2
12月	3	1	1	4	2	1	11	5	4	16	1
1月	3	1	1	4	2	1	11	4	1	16	1
2月	3	1	1	4	2	0	10	4	0	10	1
3月	3	1	1	4	2	1	11	5	0	18	1
計	20	4	10	48	19	11	112	52	37	111	14

前年度	0	28	36	15	48	12	139	35	19	0	20
前年比	20	-24	-26	33	-29	-1	-27	17	18	111	-6

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現のために	<p>◎安全、安心、居心地の良い空間を</p> <p>乳幼児の発達は著しく、子どもの発育に個人差も大きい。0,1,2歳児の異年齢保育では一つの室内空間をいかにうまく使うか、常に工夫が必要である。保育士一人一人の保育観を生かしながら、子ども達が日々安心して自己表現していけるよう見守っていききたい。まずは、職員が何事においても慌てず、ゆったりとした心構えでいることが子どもの安心感につながるので、互いに話し合っていきたい。又、子どもの成長と共に安全面には油断できないので、常に緊張感をもちながら保育に取り組んでいく。その中で家庭的な温かい園を目指していききたい。又、子ども一人一人の主体性を大切に成長につなげていききたい。</p>	<p>職員の入れ替わりがあったものの、日々の保育の中での気づきをつぶやいたり話し合ったりすることで、新しい職員チームとしての連携を図ることができたと思う。限られた空間での異年齢保育では、個性的な子どもの行動が目立ち、保育に悩むこともあった。その時々の子どもの様子や発達を捉え、職員一人一人がアイデアを出しながらあらゆる環境を工夫し、子ども達が安心して楽しく過ごせる空間作りをすることができた。個々の生活リズムに合わせ、睡眠を確保したり、遊びの空間を保障したりと職員が臨機応変に対応することもできた。しかし、著しく成長する子どもに対して職員の意識に緊張感が足りないと感じることもあった。ヒヤリと感じたこともあり、その都度すぐに振り返りをして繰り返さないよう努めてきた。</p>
2、施設の役割・あり方	<p>◎地域の方々に見守られながら</p> <p>ビルに囲まれ、ビル内にある当園では、様々な職種の方々と遭遇する。園自体があまり知られておらず、散歩をしていても目立つ傾向にあるが、逆に「ここに子どもたちがいるよ！」とアピールしていくことで子どもたちを守ってもらえるのではと考える。子ども達と一緒に出会った方とのコミュニケーションを大切に、地域に密着していききたい。園に通う子どもは、ほぼ第一子、核家族である。子育ての大変さを感じながらも一人で抱え込む方が多いと感じられるので、保護者が参加する行事や交流する機会を作っていく。</p>	<p>子ども達の気分転換を常に意識し、積極的に散歩に出かけた。(市役所前、展望台、NHK、松川べり、富山城、県民会館、駅周辺、公園等)街中では、乗り物も多く見ることができたり公園もあったりといろいろ楽しめるが、休み明けにはごみが目立っているのが気になった。気持ちの良い街づくりをすることの大切さを小さな子に少しでも伝えていけたらという思いでごみ用トングと袋をお散歩ワゴンに設置した。</p> <p>ビルの管理人の方には行事にも参加して頂く等子ども達を可愛がっていただき、温かい目で見守ってってもらえたことに感謝。その都度感謝の気持ちを伝えるなど、日々のコミュニケーションが大事。</p> <p>保護者の座談会「さくらんぼママのおしゃべり会」を計画していたものの、日々の保護者対応や家庭状況に触れていくうちに思いが変わり、まずは子どもを含めた家族同士の交流が大切だと思うようになった。そこで、きぼう保育園と合同の「おやこふれあい運動会」を実施した。二つの園の職員がアイデアを出し合うことで、無理なく準備が整い、家族皆が笑顔になれる楽しい運動会を実施できた。</p>

		<p>一時保育は園児の兄弟利用が定期的であり、子どもが喜んで保育に参加できたことで、それほど負担なく預かることができた。</p>
3、人材育成・研修	<p>◎0,1,2歳児保育のポイントをつかむ</p> <p>乳幼児の保育は、子守りをする面倒をみる感覚ではいけない。子ども達は小さいながらも思いがあり、個性があふれている。また、日々の成長も著しく、保育士はその時々状況に応じて臨機応変に対応するテクニックが必要である。小規模園では、保育士一人一人の動きが園全体の生活の流れに直結する。保育士一人一人が学び、保育の感覚を養っていくことが大切である。職員は、できるだけ研修に参加したり、文献を読み合わせたり、時にはたわいもない話から子どもの可愛い姿を共有し、職員が一丸となって保育できるような雰囲気づくりをしていきたい。</p>	<p>2歳児の子ども達それぞれが個性的で配慮の必要性を感じていた。その反面1歳児が意欲的な姿を見せてくれたり、0歳児がそれを見て真似しようとしたりと、年齢ごとにまとめようとする必要はないと感じた。一人一人ができる範囲で同じ空間を楽しむにはどうしたら良いかを、毎月の会議で月案を基に話し合った。とはいえ年齢、月齢によっては、どうしても無理な動きや食事の仕方の違い、思いの違いもあるので、一人一人の発達段階を捉えた対応方法については慎重に話し合った。又、言葉はでなくても、子ども一人一人の心の読み取りについても職員それぞれの思いや考えを発信し、その子にとって園生活がよりよい環境となるよう心掛けた。人権擁護においては共通の意識をもって取り組むことが大切なので、文献を読み合わせて保育を振り返るように取り組んだ。</p>
4、働き方改革と処遇改善	<p>◎様々な働き方と効率の良い仕事</p> <p>職員一人一人の働き方を理解し、協力しながら働きやすい環境を整える。事務時間を定期的にとれるよう工夫し、効率の良い仕事ができるよう配慮する。又、年次有給休暇も計画的にとるようにする。さくらビル2階のワークブースを利用しノンコンタクトタイムを確保する。体制に困った時は、石金こども園やきぼう保育園と連携をとり保育に努めていきたい。</p>	<p>小規模園では正規職員の人数が少なく当番をこなすことに難しさを感じることもあったが、福祉会職員の協力を得ることで無理のない勤務体制をとることができた。ワンフロアでなかなか息抜きしづらい環境の中、さくらワークブースを借りてのノンコンタクトタイムは、職員にとっては貴重なひと時である。</p>
5、施設改修等	<p>◎快適、安全に過ごすために</p> <p>ホクタテビルメンとの話し合いを大切にしながら、子どもの安全を最優先に取り組んでいく。</p>	<p>室内の電気やトイレ、シャワーの故障など、ホクタテの方に連絡をとることでスムーズに対応してくださった。</p> <p>ビルのエントランスや駐車場の片隅を使っでの遊びには安全面に配慮していたが、子どもの成長に伴い想定外の行動も出てきたり、職員の入れ替わりなどで危険を感じたりしたため、新たに移動可能なフェンスを購入した。</p> <p>非常時に備え、避難袋の見直し、簡易トイレ、非常食などをそろえた。</p>

令和6年度 事業報告 わかばさくらんぼ園

- 4月 お花見散歩
- 5月 検尿検査・内科検診
- 6月 歯科検診・保育参加・園外保育（堀川町公園）
- 7月 七夕の集い・水遊び・個別懇談会
- 8月 合同水遊び（にこにこ園にて）・夏まつりごっこ
- 9月 ~~さくらんぼママのおしゃべり会~~ 変更→親子ふれあい運動会
- 10月 歯科検診・内科検診・2歳児遠足（奥田公園）
ハロウィンごっこ
- 11月 勤労感謝ウィーク（石金こども園給食室・NHK・管理室）
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年お楽しみ会・個別懇談会
- 2月 節分の集い・お店屋さんごっこ・災害時引き渡し訓練
- 3月 ひな祭り会・お別れ会・お別れ散歩（牛島公園）

◇ 令和6年度 児童在籍の実績数 ◇

	0歳児	1歳児	2歳児	計	延長 保育	一時 保育
4月	1	2	4	7	13	0
5月	1	3	4	8	16	0
6月	1	4	4	9	16	1
7月	1	4	4	9	18	0
8月	2	4	4	10	10	1
9月	3	4	4	11	15	0
10月	3	3	4	10	17	2
11月	4	4	4	12	14	2
12月	4	4	4	12	16	4
1月	5	4	4	13	12	1
2月	5	4	4	13	12	2
3月	5	4	4	13	15	3
計	35	44	48	127	174	16
前年度	19	48	48	115	174	3
前年比	16	-4	0	12	0	13

令和6年度 事業報告

わかば学童クラブ堀川園 A・B

◎基本方針に対する到達状況

たくさん遊んで！のびのび過ごして！日進月歩」

- | | | |
|----|-----------------------|----------------------|
| 1、 | ほっと安心できる学童 | ～「ただいま！」「おかえり！」を大切に～ |
| 2、 | 小学生の喜ぶ遊びの充実 | ～自分たちで作る楽しみを！～ |
| 3、 | 安全な環境づくり | ～室内外の環境の見直し・下校指導～ |
| 4、 | 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり | ～安心して過ごせる空間に～ |
| 5、 | 保護者が安心して就労できる学童 | ～何でも話し合える信頼関係を～ |



1年生から6年生までの児童が利用。基本1階と2階で低学年、高学年に分けて生活をしているが、遊びによっては交流しながら自分達の思いを優先させて過ごした。複数の小学校の子達が登録しているため、交流を深めることができるように子ども達と共に行事を考え楽しめるようにしていった。今年度は卓球台を設置することで室内でも体を動かすことの幅が広がった。また、園庭には日よけを設置し活動しやすようにした。園外に出かける機会を時々設け、公共機関を利用することで社会性を身につけることにもつながるようにした。

地域の小学校とは密に連携をとり、情報共有や共通理解を心がけることで、信頼関係を築くことができた。保護者とも対話することを心がけ、意見をいただいたときにも向き合い関係を築いた。近隣の方とのコミュニケーションも図るようにした。今後も地域の児童健全育成の為に取り組みを充実させていきたい。

◎事業報告

- 4月 1年生歓迎会、お花見、園外保育（魚津水族館）
- 5月 避難訓練
- 8月 プールあそび、夏祭り、やまびこキャンプ（1泊2日）園外保育（ひらりんの森）
- 10月 避難訓練、園外保育（ミラージュランド）、あすなるフェス24、ハロウィンパーティー（下堀園と交流舎）
- 12月 クリスマス会、大掃除、園外保育（富山市きらり、ゴールデンボール）
- 2月 避難訓練、節分の集い、園外保育（ガラス工房、駄菓子屋）、雪遊び、クッキング
- 3月 お別れ会

◎校下別利用人数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
蜷川	21	27	14	8	10	2	82
堀川南	0	0	3	0	0	0	3
片山学園	0	1	0	0	0	0	1
熊野	2	0	0	0	0	0	2
堀川	1	0	0	1	0	0	2
西田地方	1	0	0	0	0	0	1
四方	0	0	0	1	1	0	2
合計	25	28	17	10	11	2	93

◎利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設 日数 A	29	23	24	26	26	30	29	27	31	28	27	29	332
開設 日数 B	29	26	29	29	29	30	30	27	31	28	27	29	347
延べ 利用 人数	1338	1200	1131	1286	1134	1041	1143	1024	1057	942	836	1067	13295
登録 人数	104	104	103	102	102	99	99	95	94	93	92	91	1178

令和6年事業報告

わかば学童クラブはりはら園

基本方針に対する到達状況

「令和6年度 基本方針」

- 心も体も安心して過ごせる居場所作り
- 自分達で考えたことや思いついた遊びが実現できる環境作り。
- 1年生から3年生までの子ども達が学年関係なく遊びに誘ったり、教え合ったりできる経験を大切に。
- 保護者の方が安心して預けられる学童となるように

年度当初から戸惑うことなく子ども達は好きな遊びを友達と楽しんでいた。2・3年生も1年生に優しく声をかけ、一緒に遊んだり、分からないことを教えたりする姿が見られた。年齢や学校関係なく一緒に楽しめる学童になっていた。

年間を通して子ども達の好きな玩具や遊びを取り入れるように心掛けた。体を動かすことが好きな子が多かったので、いろいろなスポーツに挑戦できるように玩具を準備したり、1年生の子も一緒に楽しめるように子ども達とルールを考えたりした。室内でゆったり過ごしたい子や体を休めたい子もいたので、ソファやベッドを用意した。好きな本を読んだり、友達と会話を楽しんだりしてのんびり過ごせる空間は子ども達からも人気だった。作ったり描いたりするのも好きだったので、子ども達が自分の作品を飾ったり、途中の作品を明日も楽しめるようにとっておいたりできるように作品コーナーを作った。自分が作りたい時ややりたい時に自分のペースで物づくりに集中して取り組んでいた。また学校休業日には、お弁当をもって園外保育にたくさん出かけた。子どもの行きたい場所ややりたいことを聞き、行き先を決めた。お菓子屋さんへの買い物体験では、1人300円で駄菓子をいくつか買えるか自分で計算したり、お店の方とやりとりしたりする良い経験となった。夏休みには今年度から初めて呉羽青少年自然の家に行き、野外炊飯やきもだめし、夏ならではの池遊びをした。

保護者対応では、学童での子どもの様子を具体的に分かりやすく伝えたり、学校や家庭の様子を聞いたりしたことで信頼関係を築けるように心がけた。保護者の意見には真摯に受け止め担任間や上司と話し合い、改善、対策をして保護者が安心して子どもを預けられるように心がけた。

事業報告

- 4月 バーベキュー
- 5月 魚津水族館、ホタルイカミュージアム(園外保育)
- 7月 ポップサーカス観劇
- 8月 学童キャンプ
- 10月 ミラージュランド、ホテル森の風立山キッズランド(園外保育)
- 12月 四季防災館、ゴールデンボール(園外保育)
- 2月 節分の日、駄菓子屋にお買い物
- 3月 お別れ会

利用状況(人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
401人	469人	458人	465人	469人	416人	458人	401人	425人	398人	357人	396人

令和6年度事業報告

わかば学童クラブ下堀園 A・B

- 4月 交通安全指導、新入生歓迎会
- 5月 高学年 春の遠足（岐阜県神岡町カミオカラボ、レールバイクガッタンゴー）
- 6月 低学年 春の遠足（高岡おとぎの森公園、富山市科学博物館）
- 7月 健康教室（熱中症）
高学年海水浴（射水市海老江海浜公園）、水遊び
- 8月 やまびこキャンプ（1泊2日 立山青少年自然の家）、
低学年 里山遠足（八尾町平林）、夜の肝試し、水遊び
- 9月 作品展
- 10月 低学年 秋の遠足（立山町総合公園）、ミニ運動会（卒園生招待）
ハロウィン仮装行列（放課後デイ、近隣商店など）
- 11月 ガールズデイ（クッキング、制作など）
- 12月 クリスマス会（器楽、劇、一芸披露など）
- 1月 雪遊び/スキー遠足（山野スポーツセンター）
- 2月 健康教室（プライベートゾーン、第二次性徴と生理用品レクチャー）
高学年電車遠足（アオイスportsハウス、マクドナルド）
- 3月 音楽クラブコンサート、学童まつり、お別れ会

登録人数

	1年生	2年生	3年生	4～5年生	合計
4月1日	31	23	12	14	80
3月1日	28	22	12	12	74

利用状況（上段…A、下段…B、三段目…合計）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	25	24	25	26	26	22	26	24	24	22	22	24	290
延べ 利用 人数	595	553	561	640	486	522	631	552	570	500	474	551	6635
	604	548	535	609	497	504	590	523	510	467	405	495	6287
	1199	1101	1096	1249	983	1026	1221	1075	1080	967	879	1046	12922
登録 人数	38	38	38	39	38	37	38	38	37	37	36	35	449
	42	42	41	40	40	40	40	41	41	40	39	39	485

令和6年度 わかば学童クラブ下堀園 事業報告（保育反省より抜粋）

実施内容と反省

●安全・健康 ～命を守り、子ども自身が安全に過ごすために～

- ・ 確実な出欠確認（ICT活用）と交通安全指導（4月～5月、ほか不定期で下校見守りを実施）
- ・ 避難訓練（年間4回実施のうち1回は不審者対応訓練）
- ・ 受診を必要とするケガ等
 - 4月 園庭遊具で転落（5年生 足首打撲）、公園で転倒（2年生 剥離骨折）
 - 8月 サッカーで衝突（5年生 足首捻挫）、キャンプで虫刺症（1年生 マダニ）
キャンプで棘刺創（2年生 転倒時に栗のトゲ）
 - 11月 園庭で転倒（2年生 顔面すり傷）
 - 12月 発熱時にダイアアップ使用（2年生 熱性けいれん既往歴あり）
 - 1月 サッカーで転倒（2年生 背中打ち身）

●保護者への子育て支援

- ・ 個別懇談会（6月）1年生11名、2年生5名、3年生2名、4～5年生2名実施
- ・ 随時相談（学習と集団適応など、友だちとの関わり、退園の相談 他）
- ・ 食物アレルギーや持病の対応相談（アレルギー、熱性けいれん、ネフローゼ症候群ほか）
- ・ 意見や要望（水分補給について、行事について、玄関での職員対応について）

●発達に応じた遊びの提供・生活環境づくり

チーム★スマイル（1・2年生クラス） ⇒ 7月後半から1年生だけの単独学年クラスへ

みんながのびのびと過ごせるように → より丁寧な環境・集団づくりへ

- ・ 帰りの会では、月ごとの歌や制作タイムを
- ・ 生活経験や学習の個人差に もっときめ細やかな配慮を

チーム★チャレンジ（3～5年生クラス） ⇒ 7月後半から2～5年生の異年齢クラスへ

任せる・離れる・見守る 個と集団のバランスを → より豊かな異年齢交流 育ちあう環境へ

- ・ 自由時間の充実（コーナー制のおやつ等）・年上の子に教えてもらう当番活動
- ・ 係活動、高学年会議の実施 ・集団が煩わしい4・5年生の姿も

異年齢活動の時間（エンジョイタイム）；5月～9月 以降は中止 ※行事や自由交流が増えたため
自由参加のクラブ活動（野球、音楽ほか）；5月～12月

年度末の子ども（集団）の姿 ⇒学童期の発達の姿がとてもよく現れている

- 1年生…とても落ち着いて、穏やかに過ごしている。好きな遊びがあり、主体的な姿が見られる。
遊び/生活ともに、大人の提案や支援を素直に受け取り、楽しんでいる。上級生からの刺激は足りない。
- 2年生…自由時間でも同級生との関わりが多いが、遊び/生活どちらも上級生からの刺激は多い。
物の整理や着替え、宿題の支援など、まだまだ援助が必要な場面が多い。
- 3年生…小集団で仲良しと過ごしたが一方、1・2年生と一緒に集団で遊ぶ活動も求めている。
学習や生活場面での援助はほとんど必要なくなり、大人から離れて過ごす時間も求めている。

⇒異年齢で過ごすことの良さと、その環境づくりを職員が試行錯誤した1年間

⇒令和7年度クラス編成・・・高学年と1～3年の異年齢クラスへ

令和6年度 事業報告

わかば子育て支援センター

事業実績

(1) 子育て親子の交流の場の提供

- ・ 利用者が安心して子どもを遊ばせることができる清潔で安全な環境。
- ・ ほっとできる雰囲気作り（適温の室内、床暖、生き物の観察コーナー※メダカ、オタマジャクシ）
- ・ 子ども達が来館を喜ぶような企画実施
 - ※ 例…サマーDAY企画（屋上で水遊び、金魚すくい、魚釣りコーナーなど）
 - からだを動かして遊ぼう企画（おひさま広場開放、ボール的当て、垂直ジャンプなど）
 - お正月企画（お餅つきごっこ、お餅焼きコーナー、アンパンマン福笑いなど）
- ・ 年齢や発達、興味に応じた環境（遊具）の設定
- ・ 身近な材料を使用した手作り玩具の提案・設置
- ・ 子育てに関する相談
- ・ 子育て情報や周辺地域などの暮らしに役立つ情報の提供
- ・ 親子サークル5回
 - ばななサークル（あんよができるお友達） 2部制
 - いちごサークル（はいはいができるお友達）2部制
 - ももサークル（ねんねのお友達） 1部制
- ・ プレマプレパおしゃべりサロン（マタニティーサークルから名称変更）月1回
- ・ 身体計測、発育相談【3日間実施】

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

発育・発達

・ 医師から今後成長に何等かの遅れが出てくるかもと言われている。現時点で遅れていると感じる部分があったら教えてほしい。最近指先を使って回したがる。言葉の遅れが気になっている。理解はしているが発語につながらない。発達面で受診必要と言われており不安。どんな玩具で遊ばせればよいか。まだハイハイしない。いつになったらするのかわからない。名前を呼んでも手を挙げたりバイバイしたりしない。ハイハイせずつかまり立ちをしている。ハサミの練習はいつからか。まだ歩かないのは大丈夫か。発育が遅いと医者に言われて不安。寝返りしかできない など

食事

・ 離乳食を噛まずに飲み込んでしまっている。唯一食べていた白米も食べなくなった。固さの目安。離乳食の進め方。離乳食を開始する上で持っていたら良い便利グッズ。アレルギー食材の進め方。フルーツの与え方。卵アレルギーが判明し、どのようにしていけばよいか。ご飯もおやつも良く食べるが食べさせずぎか。離乳食が進まない。離乳食をよく食べるが授乳の回数はどうしたらよいか。生活リズムが整わず、2回食から3回食へ移行タイミングが分からない。出汁のとり方、道具について。味付けについて。バナナなどの果物の加熱はいつまですればよいか。まだつかみ食べをさせていないが、させた方がよいか。甲殻類はいつから食べて大丈夫か。

【電話相談】離乳食をスタートしたがおかゆ食べたらミルクを飲まなくなりました。 など

排泄

・ 便秘になりやすい。入園している上の子の排便失敗に関して担任の関わりへの不満。トイレトレーニングに興味を持ちだしているのでもどのように進めていけばよいか。トイレトレーニングについて。夜用パンツなのに漏れてしまう。トイレへの誘い方。布オムツについて知りたい。 など

性格・癖

・ 内弁慶過ぎて困っている。講座の時間に我が子だけ興味を示さず違うことをしてしまうのは、わがままではないかと気になる。 など

育児不安

・知らない大人への緊張が強く、施設利用時に困難さを感じる。後追いの時期をどう過ごしているか。水分をあまりとりたがらない。子どもが父親を嫌がり父親がイライラする。上の子のイヤイヤ期がひどく、下の子の関わりが少ないことへの後悔。指しゃぶりをするが原因は何か。イヤイヤ期の対応。ワンオペ育児。母親への噛みつき。遊びに集中せずに動き回る。我が子の成長や発育を育児書や他児の姿などと比較してしまい不安が募る。上の子の発達に問題があるとされ現在療育に通っているが夫との意見も合わず悩んでいる。産後体調が優れずとても疲れやすい。実父と子育てについて意見が合わず辛い。人見知りやひどく、サークルなども参加したいが迷惑じゃないか。年末年始、母が体調不良の中子育てをしなければならなかったことで疲れがたまっている。動きが活発になってきて睡眠も短いのでママが疲れ切ってしまう。手足の爪を噛む。他児に「ダメ」といって玩具共有できず、保護者との関係も不安。入園に向けて朝のスケジュールをどのようにすればいいのか。母乳育児をしたかったが出産した病院があまり積極的ではなかったため母乳をあげることがトラウマになっている。姉弟共に内弁慶な性格なのは子育てのせい。上の子が「友だち嫌い」と言って保育園登園を嫌がり、どこまで受けとめたらよいか。など

育児方法

・水分補給の際コップ飲みをさせていった方がよいか。家の中で発散できる遊び。赤ちゃんの玩具選び。歯磨きを嫌がる。体調不良で家で過ごす際どう過ごさせているか。早朝早く目覚める子にも少し寝かせたい時の関わり。イヤイヤ期の関わり。発育を促す関わり。フォーク持ちについて。ガラガラうがいの開始年齢。ファーストシューズを買う時期。片づけて帰る時のスムーズな言葉かけ。背中スイッチがあり、布団におろすと泣く。よく動くので部屋の中での危険対策。手作り玩具の作り方について知りたい。休みの日の過ごし方。夜寝る時に布団の回りに玩具を並べることをやめさせたい。我が強くなり親としてどう接していけばいいのか。歯磨きを嫌がり困る。行きたい場所や予定があった場合、大人に合わせるか子どもベースにするか。ワンオペの時に便利なお風呂グッズが知りたい。オムツ替えを嫌がるので工夫はないか。など

入園・一時預かり

・富山市内の園の入園について情報を知りたい。園を考えているが何から取り組んだらよいか。入園について。一時保育の利用について。入園の仕方について。一時保育利用したいがまだ小さいので心配。仕事探しと保育園探しの手順。入園できるか不安が大きい。2歳児クラスで内履きが必要だがどんな形が履きやすいか。慣らし保育の期間について。園生活にはどのように慣れるものなのか。保育園の準入園準備について。支援センターを利用しているとその園に入りやすいというのは本当か。入所説明会について。入園申し込みについて。難聴治療の器具について、入園したら大丈夫か。入園の面談で2才なのに1歳児クラスと言われたので何か遅れている部分があるのか心配。など

兄弟関係

・玩具をめくり、兄妹げんかについて。下の子が産まれてから姉(小1)が不安定で「赤ちゃんが産まれて来なければよかった」など悪い言葉を使う。上の子が赤ちゃんの真似をばかりして大変。双子の弟が姉の髪をむしる。上の子と赤ちゃんの関わりについて。など

しつけ

・好きな食べ物しか食べず、立ち歩く。危険な事をしたり、玩具を散らかしたりして疲れてしまう。どんな関わり方をすればよいかわからない。歯磨きの時に動画を見せているが交換条件を出しているようで嫌な気持ちがある。物を投げるようになり、ママにぶつけて喜ぶことがある。など

睡眠・上の子が夜なかなか寝てくれない。夕寝をしてしまい夜中まで起きている。全然寝てくれないのはなぜ。など

保育所・幼稚園

・幼稚園の運営について。わかば保育園について。布オムツについて。園選びの基準をどうすればいいのか。上の子が入園時期について。1号枠について。保育園選びのポイント。布オムツの良さ。年少のデイリープログラム。子ども園、保育園、幼稚園の違い。見学する時のタイミング。射水市の保育園情報。転勤と保育園探しについて。小規模保育園と大きい園の違いなど何を基準に決めたらいいか。小規模園の過ごし方。園ではど

うやって体を動かして遊ぶのか。学童クラブについて。アレルギーがあるが入園したら対応してもらえるか。長男の転園を考えているが息子に合う園が見つかるか、入園できるか不安。保育園見学のタイミングについて。わかば福祉会について。など

友だち関係

・他児との玩具のやりとりについて。他児と玩具の共有ができず、センターに行きにくい。友達と一緒に遊べるのはいつ頃から？。玩具への独占欲が強く、他児に「ダメ」ばかり言い、奪いに行く。など

病気・予防接種

・3ヶ月でもアレルギーはありますか。親が花粉症だと子どももなりますか。足のシミをレーザー治療することになり、痛みも伴う事から治療範囲に悩む。乳児湿疹について。頭を強打した際「様子を見て」とはどうなったら医者へ行くのか。りんご病について。1歳半健診の内容。など

その他

・走り回って遊べる室内施設。夏場に兄弟を連れて行ける遊び場。帰省するときの準備。手作りおもちゃについて。復帰する職場環境への不安。離乳食持ち込みOKの飲食店。アレルギー検査をしてくれる病院。それぞれシーズンに行ける室内遊び場。

おちんちんが立つという生理現象をどう説明したら良いのか。おちんちんの肌のむき方。子どもの習い事について。夜寝る時に何を着せているか。寒さ対策。手形の取り方。天神様の風習。富山に転勤してセンターのことも何も分からず教えてほしい。どこの小児科がいいか。センターにあるお気に入りの歯固めを探しているが見つからない。母親自身の体調への不安。ファーストシューズの選び方。ファーストシューズを履かせる時期。公演などのイベントに最後まで座ってられるか。射水市の子育て支援センターや子を遊ばせられる屋内施設はあるか。知り合いが出産したばかりなのに離婚する予定。子の入園で相談できる場所はどこ。幼稚園役員決めについて。どんな洗剤を使っているか。誕生日プレゼントは何をあげればよいか。プレイマットの選び方。お米が安く売っている店。神奈川に転勤するがあちらにも支援センターはあるのか。プレママプレパパについて。など

(3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・ わかば子育て支援センターの行事予定表の提供（ホームページ、保育園舎外の掲示板掲示、施設内掲示、チラシ）
- ・ プレママプレパパおしゃべりサロン開催のお知らせ（神宮寺の安産祈願の際に配布）
- ・ 近隣のお店情報
- ・ イベントのチラシ、ハッピーママ無料配布分、その他子育て情報機関発行のチラシ配布
- ・ 地域で活動中の親子サークル「かがやきキッズ」「ハッピーキッズ」の案内掲示
- ・ 富山市の子育て支援情報提供（病児保育、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、ウィルカムベイビーおむつ事業、イベント情報他）
- ・ わかば福祉会下堀こども園の一時保育情報
- ・ わかば子育て情報支援センターの登録者への毎月のイベント情報、子育て支援情報などの情報メール配信

(4) 子育て支援に関する講習等の実施

子育て講座

★今年度も力を入れて開催した『離乳食講座&離乳食試食会』

講師：わかば保育園 管理栄養士、調理師

開催月：5月、7月、9月、11月、1月、

その他の講座

4月『親子でできる簡単エクササイズ』

講師：江崎磨智子ダンスカンパニー 副主宰 江崎雅子先生

5月『ハワイアンリトミック（春バージョン）』 講師：ERIKA 先生

6月『歯のはなし』 講師：歯科衛生士 山田尚代さん

8月『ハワイアンリトミック（夏バージョン）』講師：ERIKA 先生
 10月『ハワイアンリトミック（秋バージョン）』講師：ERIKSA 先生
 12月『ハワイアンリトミック（冬バージョン）』講師：ERIKA 先生
 2月『親子でできる簡単エクササイズ』
 講師：江崎磨智子ダンスカンパニー 副主宰 江崎雅子先生
 3月『親子でできる簡単エクササイズ』
 ・ 講師：江崎磨智子ダンスカンパニー 副主宰 江崎雅子先生

(5) その他地域支援活動の積極的な実施

- ・ 堀川南校区自主サークル「かがやきキッズ」への出前保育（9月・1月）
- ・ 藤の木赤ちゃんサークルへの出前保育（1月）
- ・ わかば保育園で開催したあひるユニット「ぴぺっと」の演奏会に10組を招待

～活動の様子～



4月 すくすくタイム（戸外活動）の様子



かがやきキッズ出前保育の様子



4月、5月

プレママプレパパおしゃべりサロンの様子



離乳食試食会の様子



8月、12月 ハワイアンリトミックの様子

令和6年度 事業実績数

わかば子育て支援センター

	利用者総数	講座・セミナー 参加者	その他の行事	相談件数	保育の出前	出前参加人数
4月	551	10	124	35	0	0
5月	580	21	106	37	0	0
6月	641	8	112	37	0	0
7月	672	8	114	60	0	0
8月	424	11	46	33	0	0
9月	604	8	102	51	1	27
10月	583	10	120	35	0	0
11月	641	10	124	49	0	0
12月	703	6	137	46	1	19
1月	687	4	120	58	3	62
2月	577	10	115	52	0	0
3月	657	8	120	52	0	0
計	7,320	114	1,340	545	5	108

前年度 5,752 94 1,069 406 2 38

比 1,568 20 271 139 3 70